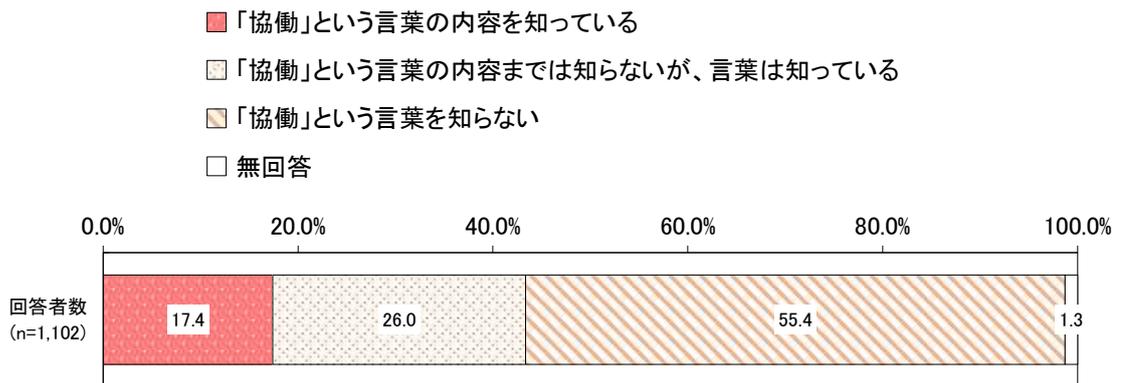


第2章 市民自治について

問16 「協働」という言葉について、あなたはご存知でしたか。(1つだけ○印)

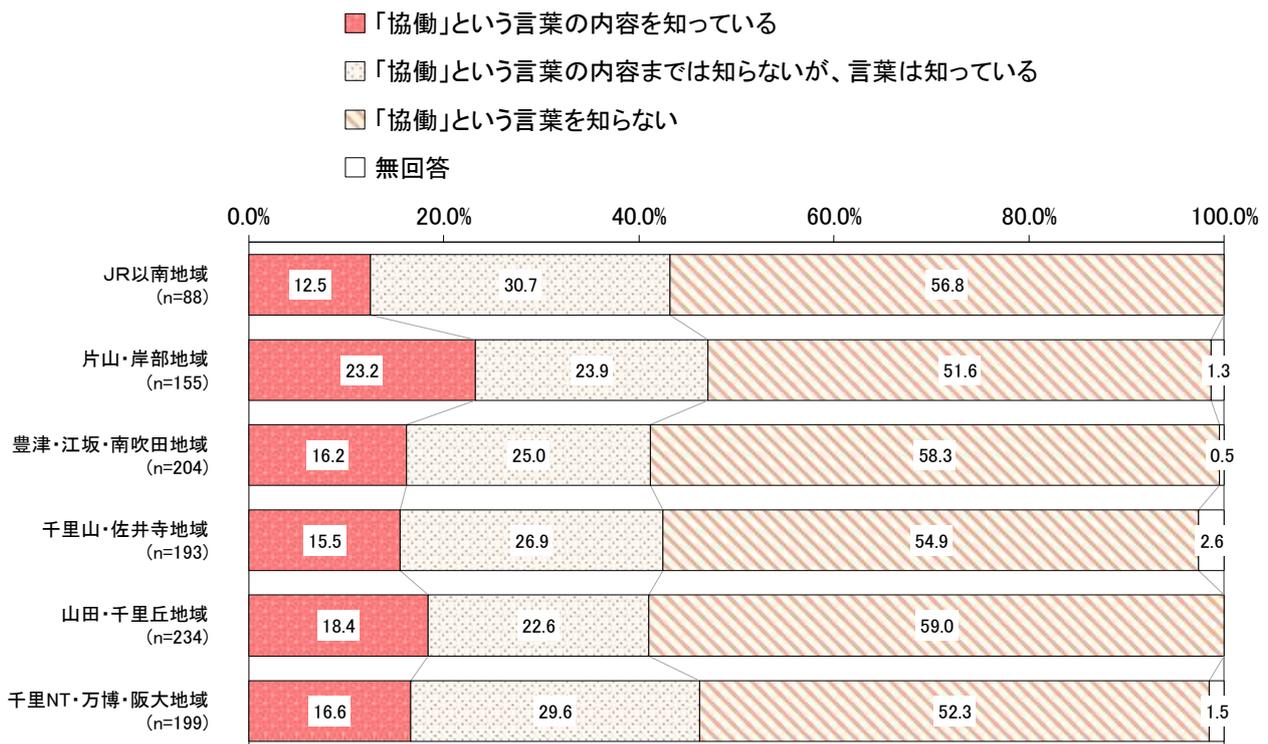
「協働」という言葉を知らない」の割合が55.4%と最も高く、次いで「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている」の割合が26.0%、「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が17.4%となっています。

図表2-1 「協働」という言葉の認知度（単純回答）



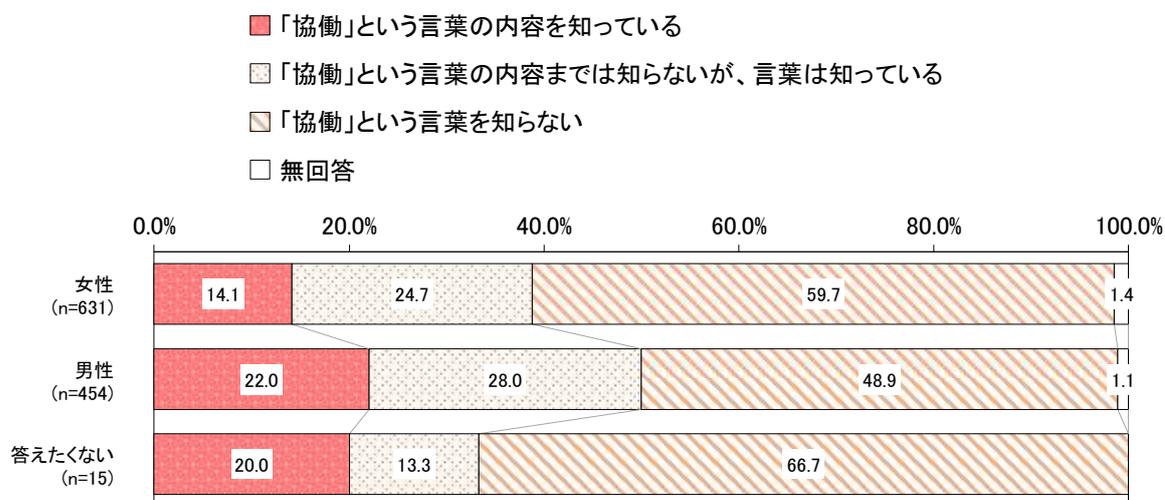
居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸部地域で「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が最も高くなっています。

図表2-2 「協働」という言葉の認知度（居住地域別）



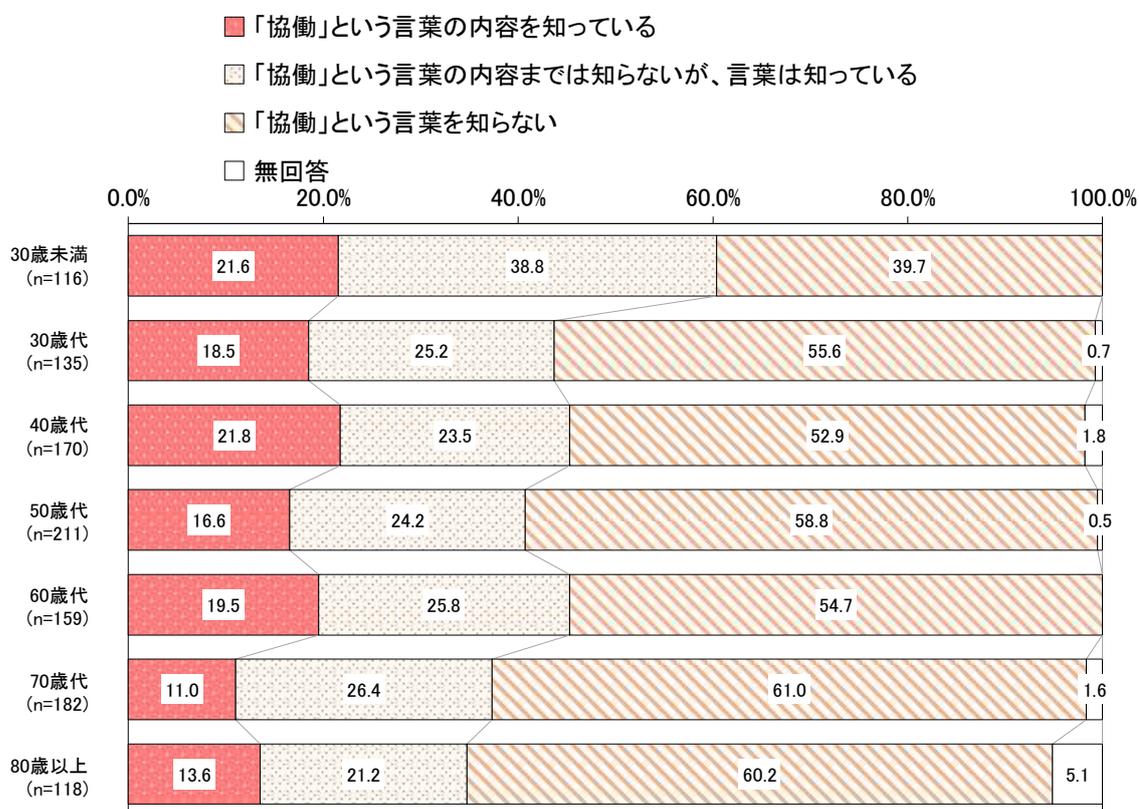
性別でみると、女性より男性の方が「協働」という言葉の内容を知っている」と答えています。

図表 2-3 「協働」という言葉の認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が最も高くなっています。

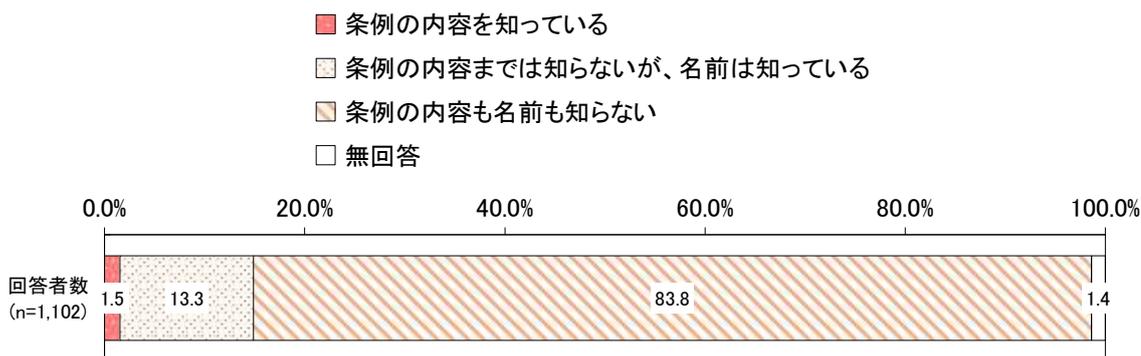
図表 2-4 「協働」という言葉の認知度（年齢別）



問 17 吹田市は平成 19 年 1 月に「協働」の理念などを定めた吹田市自治基本条例を施行しました。この条例についてご存知ですか。(1つだけ○印)

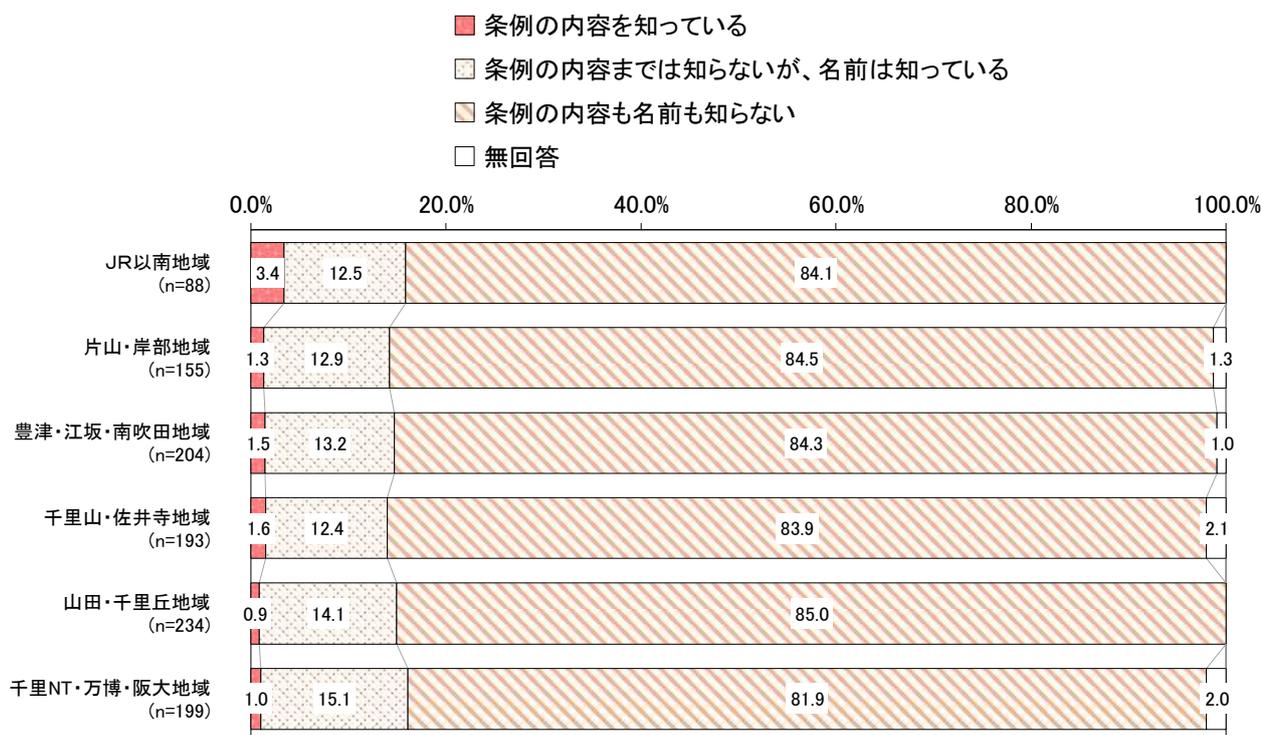
「条例の内容も名前も知らない」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」の割合が 13.3%、「条例の内容を知っている」の割合が 1.5%となっています。

図表 2 - 5 吹田市自治基本条例の認知度 (単純回答)



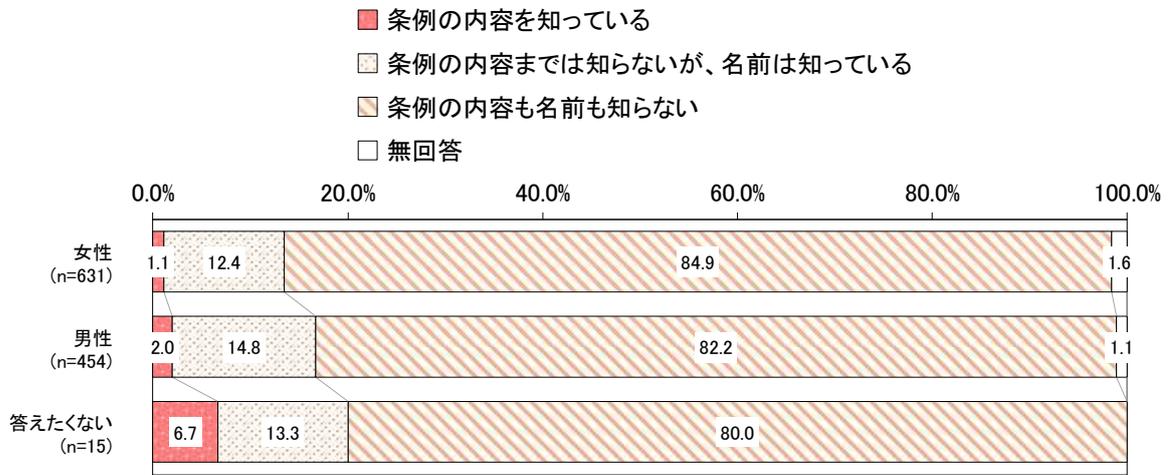
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表 2 - 6 吹田市自治基本条例の認知度 (居住地域別)



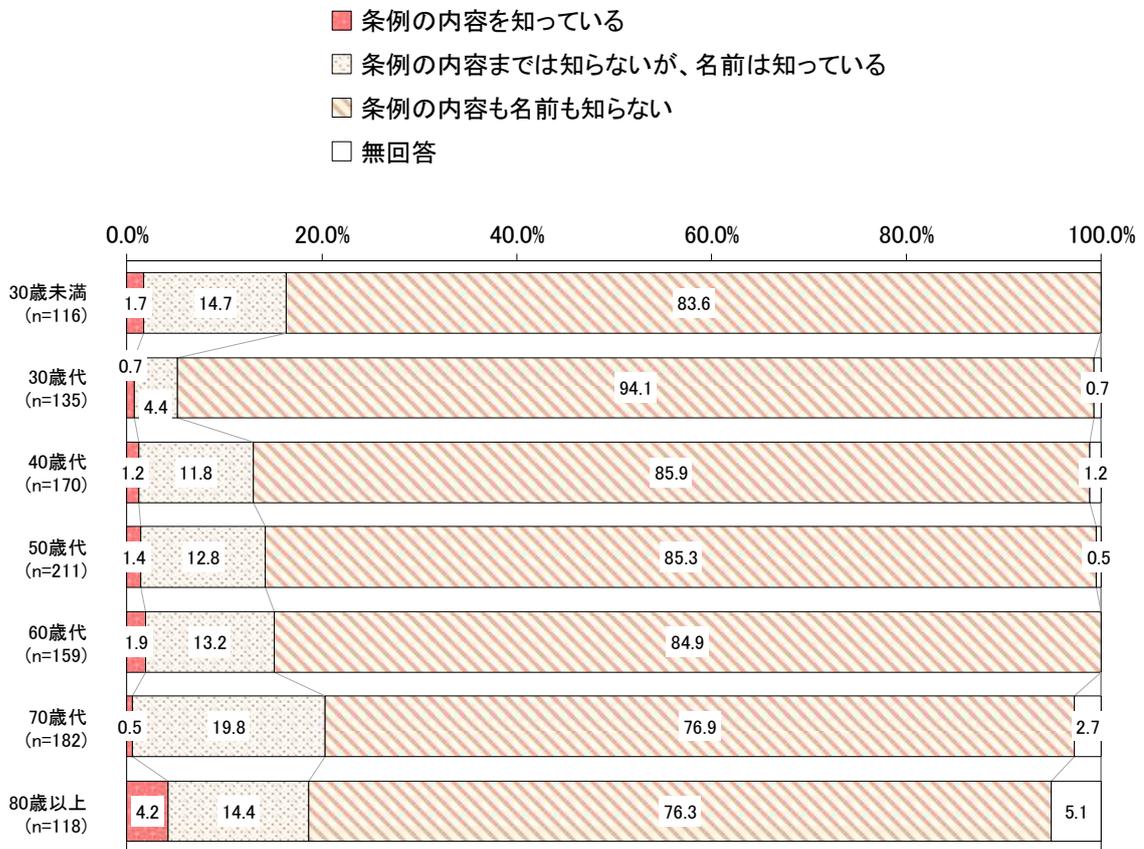
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 2-7 吹田市自治基本条例の認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、80歳以上で「条例の内容を知っている」の割合が最も高くなっています。

図表 2-8 吹田市自治基本条例の認知度（年齢別）

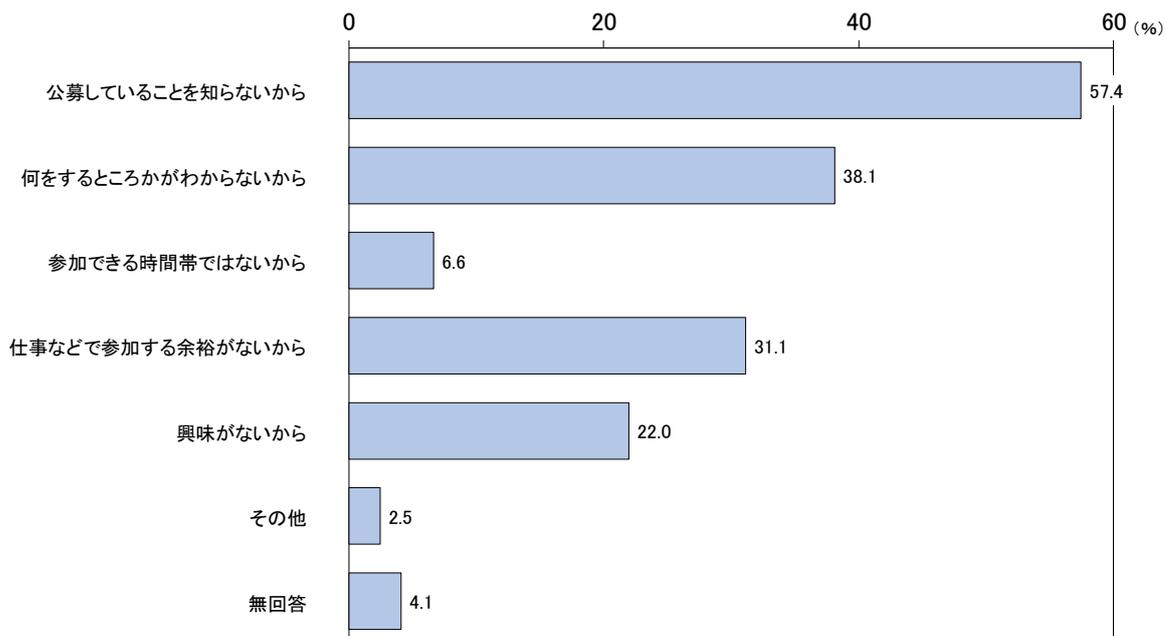


問 18 多くの審議会では委員を市民から公募していますが、市民からの応募が少ないのが現状です。それはどういう理由からだと思えますか。(2つまで)

「公募していることを知らないから」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「何をするとところかわからないから」の割合が 38.1%、「仕事などで参加する余裕がないから」の割合が 31.1%となっています。

図表 2-9 市民からの応募が少ない理由 (単純回答)

(n=1,102)



居住地域別で見ると、どの地域においても「公募していることを知らないから」の割合が高くなっています。

図表 2-10 市民からの応募が少ない理由 (居住地域別)

単位：%

区分	有効回答数 (件)	公募していることを知らないから	何をするとところかわからないから	参加できる時間帯ではないから	仕事などで参加する余裕がないから	興味がないから	その他	無回答	
居住地域別	JR以南地域	88	51.1	36.4	6.8	27.3	26.1	2.3	5.7
	片山・岸部地域	155	58.1	40.6	6.5	33.5	23.2	2.6	1.9
	豊津・江坂・南吹田地域	204	56.4	33.3	6.4	37.3	24.0	2.0	3.4
	千里山・佐井寺地域	193	57.5	40.4	6.7	29.0	23.8	2.6	3.6
	山田・千里丘地域	234	60.3	39.7	8.1	32.5	20.5	2.6	2.1
	千里NT・万博・阪大地域	199	59.3	38.7	5.0	27.6	18.1	2.5	6.5

性別でみると、男性より女性の方が「公募していることを知らないから」「何をするとかがわからないから」と答えています。一方、女性より男性の方が「仕事などで参加する余裕がないから」「興味がないから」と答えています。

図表 2-11 市民からの応募が少ない理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	公募していることを知らないから	何をするとかがわからないから	参加できる時間帯ではないから	仕事などで参加する余裕がないから	興味がないから	その他	無回答
性別	女性	631	60.1	41.7	6.2	28.7	19.3	2.5	4.6
	男性	454	53.5	33.3	7.0	33.7	25.6	2.4	3.5
	答えたくない	15	73.3	33.3	13.3	46.7	26.7	—	—

年齢別でみると、どの世代においても「公募していることを知らないから」の割合が高くなっています。

図表 2-12 市民からの応募が少ない理由（年齢別）

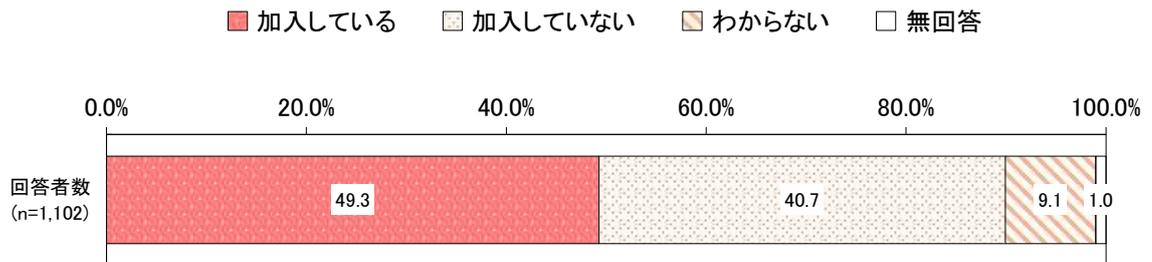
単位：％

区分		有効回答数（件）	公募していることを知らないから	何をするとかがわからないから	参加できる時間帯ではないから	仕事などで参加する余裕がないから	興味がないから	その他	無回答
年齢別	30歳未満	116	62.9	36.2	6.9	31.0	30.2	0.9	1.7
	30歳代	135	57.0	34.8	5.9	43.0	25.9	2.2	2.2
	40歳代	170	63.5	32.4	9.4	41.2	24.1	0.6	1.2
	50歳代	211	59.7	33.6	7.1	46.4	17.5	1.4	2.4
	60歳代	159	58.5	41.5	8.2	25.8	18.9	3.1	4.4
	70歳代	182	56.6	53.3	3.8	13.7	19.8	3.3	5.5
	80歳以上	118	42.4	33.9	5.1	8.5	21.2	6.8	11.9

問 19 あなたは、自治会に加入していますか。(1つだけ○印)

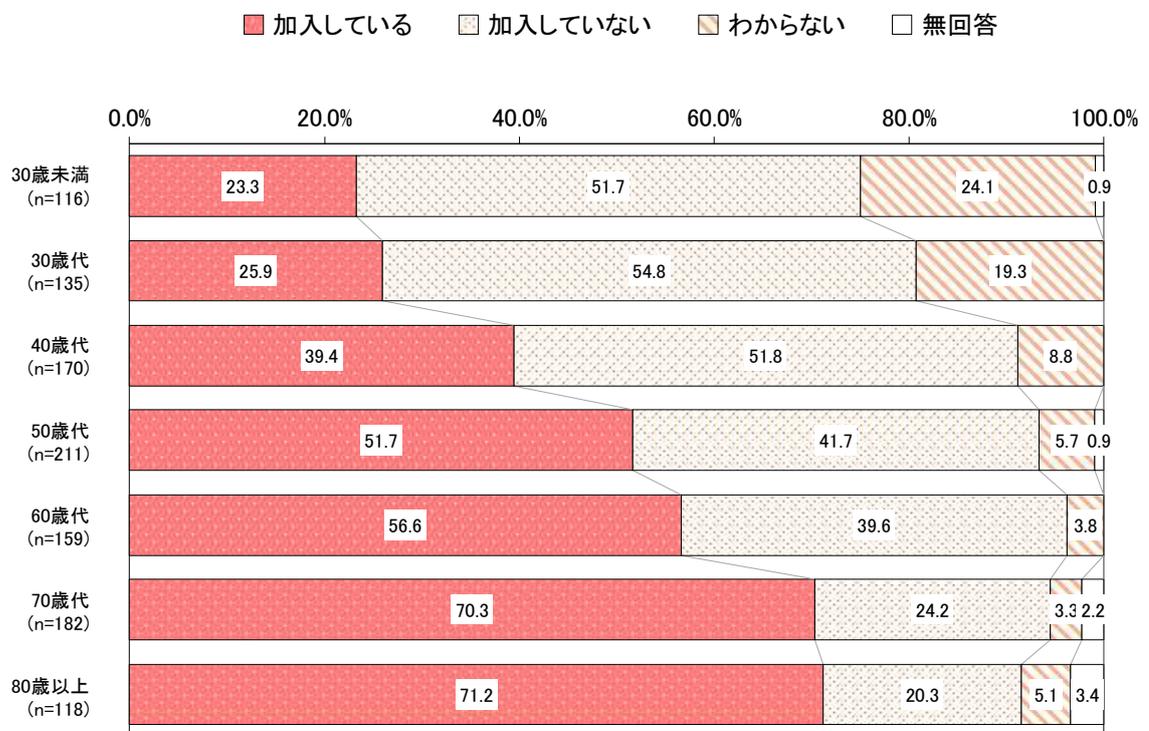
「加入している」が49.3%、「加入していない」が40.7%でした。

図表 2-13 自治会への加入状況 (単純回答)



年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「加入している」の割合が高くなっています。

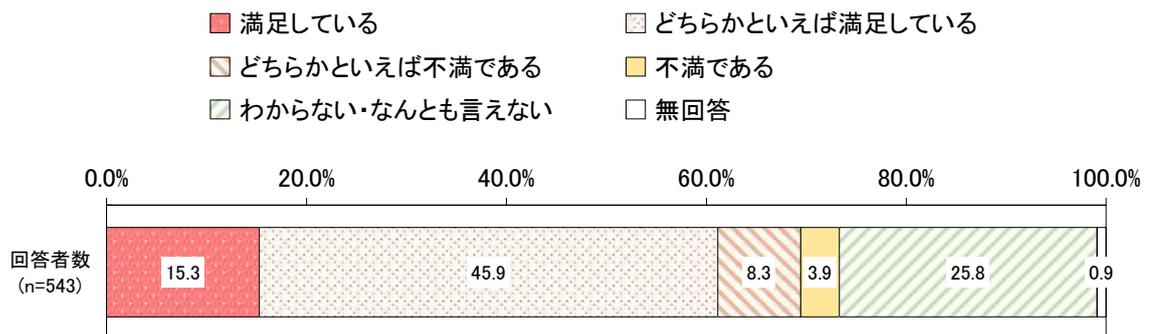
図表 2-14 自治会への加入状況 (年齢別)



問 19-1 あなたは、自治会の活動に満足していますか。(1つだけ○印)

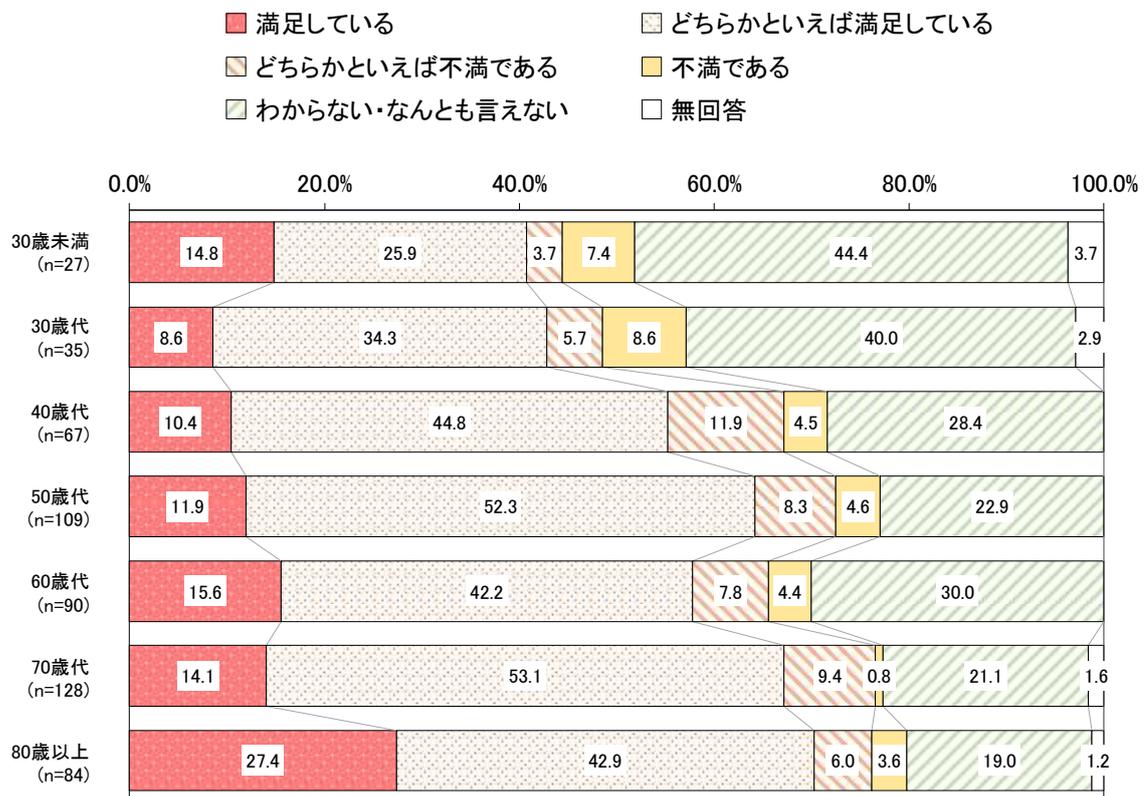
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が61.2%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が12.2%となっています。

図表 2-15 自治会活動の満足度 (単純回答)



年齢別でみると、他に比べ、80歳以上で“満足している”の割合が最も高くなっています。

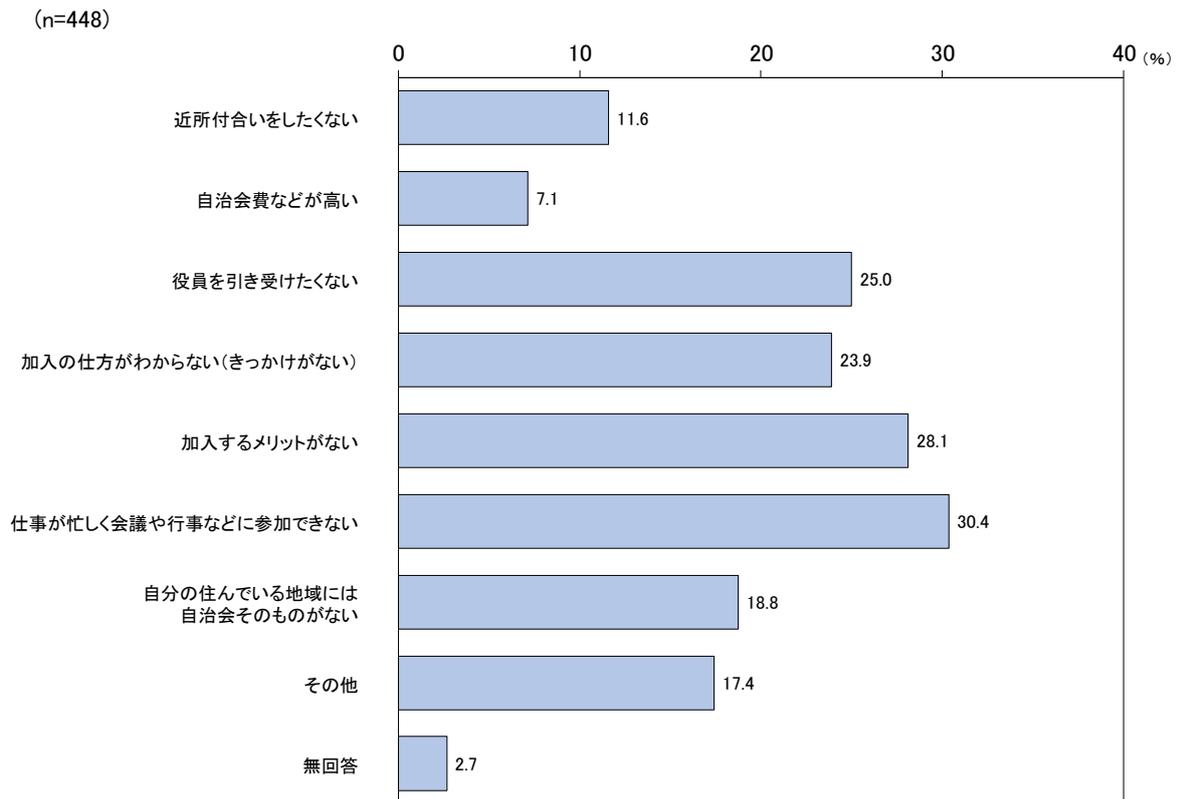
図表 2-16 自治会活動の満足度 (年齢別)



問 19-3 自治会に加入していない理由は何ですか。(いくつでも)

「仕事が忙しく会議や行事などに参加できない」の割合が30.4%と最も高く、次いで「加入するメリットがない」の割合が28.1%、「役員を引き受けたくない」の割合が25.0%となっています。

図表 2-17 自治会に加入していない理由 (単純回答)



年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で「仕事が忙しく会議や行事などに参加できない」の割合が最も高くなっています。

図表2-18 自治会に加入していない理由（年齢別）

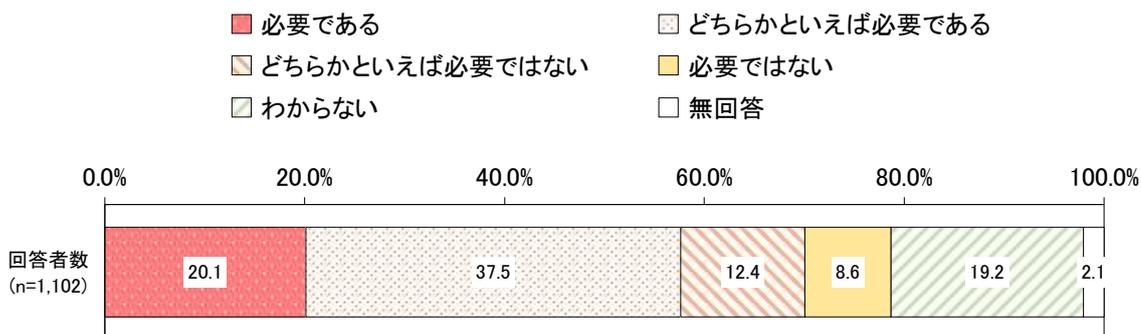
単位：%

区分		有効回答数(件)	近所付き合いをしたくない	自治会費などが高い	役員を引き受けたくない	加入の仕方がわからない(きっかけがない)	加入するメリットがない	仕事が忙しく会議や行事などに参加できない	自分の住んでいる地域には自治会そのものがない	その他	無回答
年齢別	30歳未満	60	15.0	15.0	23.3	30.0	30.0	45.0	10.0	10.0	5.0
	30歳代	74	16.2	8.1	24.3	41.9	27.0	39.2	20.3	8.1	1.4
	40歳代	88	8.0	6.8	27.3	25.0	29.5	31.8	22.7	17.0	1.1
	50歳代	88	14.8	9.1	25.0	19.3	27.3	37.5	22.7	14.8	2.3
	60歳代	63	11.1	1.6	23.8	17.5	33.3	27.0	14.3	20.6	1.6
	70歳代	44	9.1	4.5	36.4	13.6	25.0	2.3	18.2	27.3	2.3
	80歳以上	24	—	—	8.3	8.3	16.7	—	20.8	45.8	4.2

問 20 あなたは、自治会の必要性を感じていますか。(1つだけ○印)

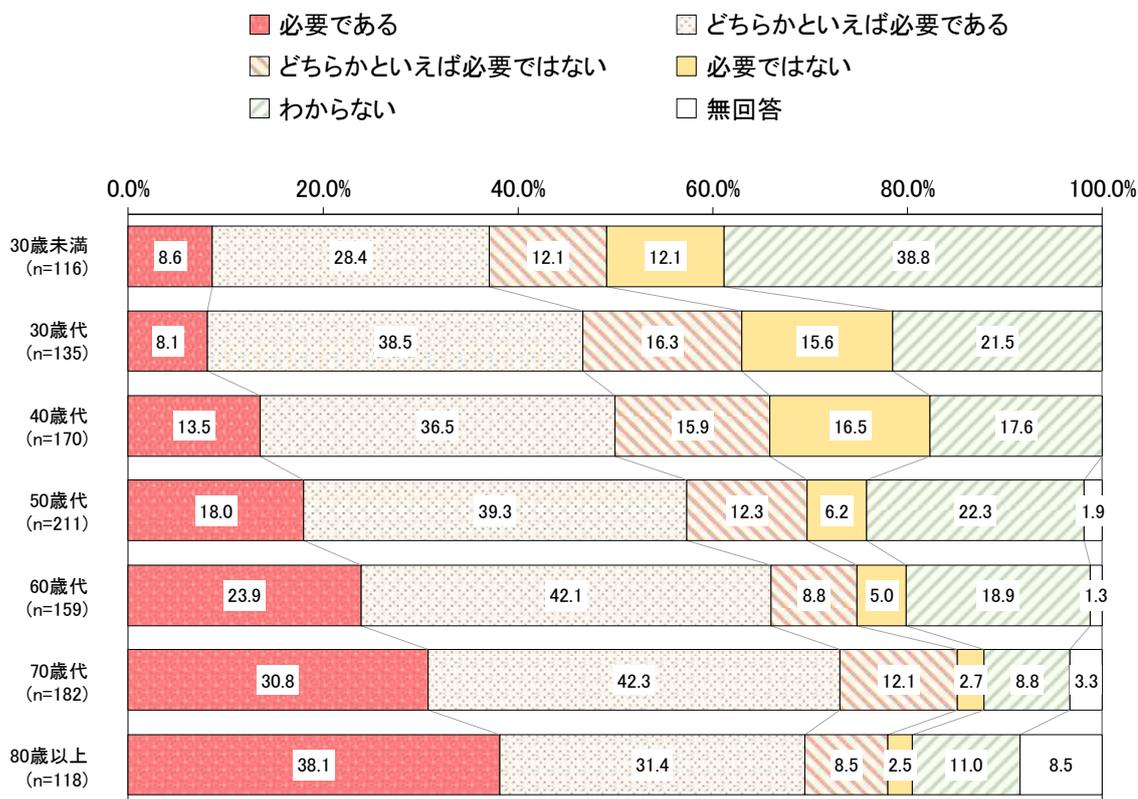
「必要である」と「どちらかといえば必要である」をあわせた“必要である”の割合が 57.6%、「どちらかといえば必要ではない」と「必要ではない」をあわせた“必要でない”の割合が 21.0%となっています。

図表 2-19 自治会の必要性 (単純回答)



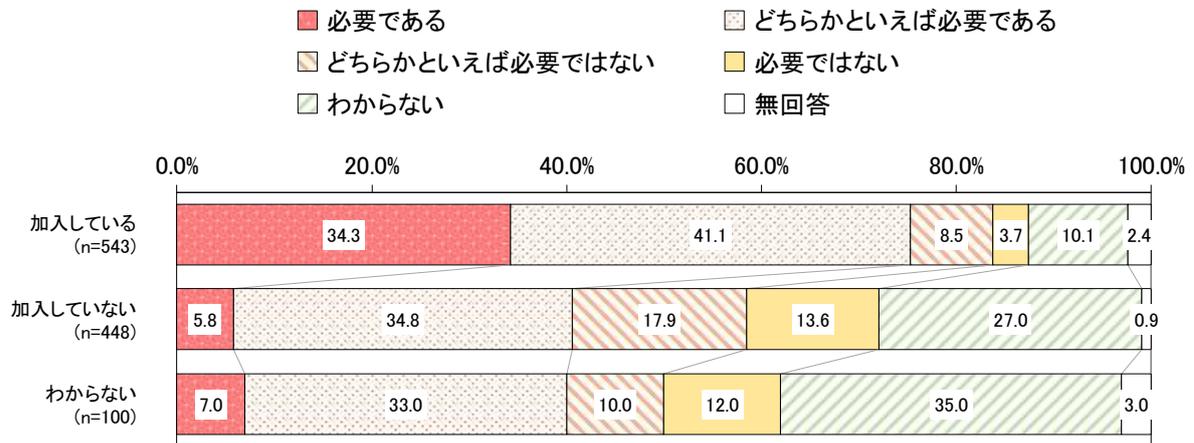
年齢別でみると、他に比べ、70歳代で「必要である」と「どちらかといえば必要である」をあわせた“必要である”の割合が最も高くなっています。

図表 2-20 自治会の必要性 (年齢別)



自治会への加入別で見ると、加入していない人に比べ、加入している人の方が“必要である”と回答しています。

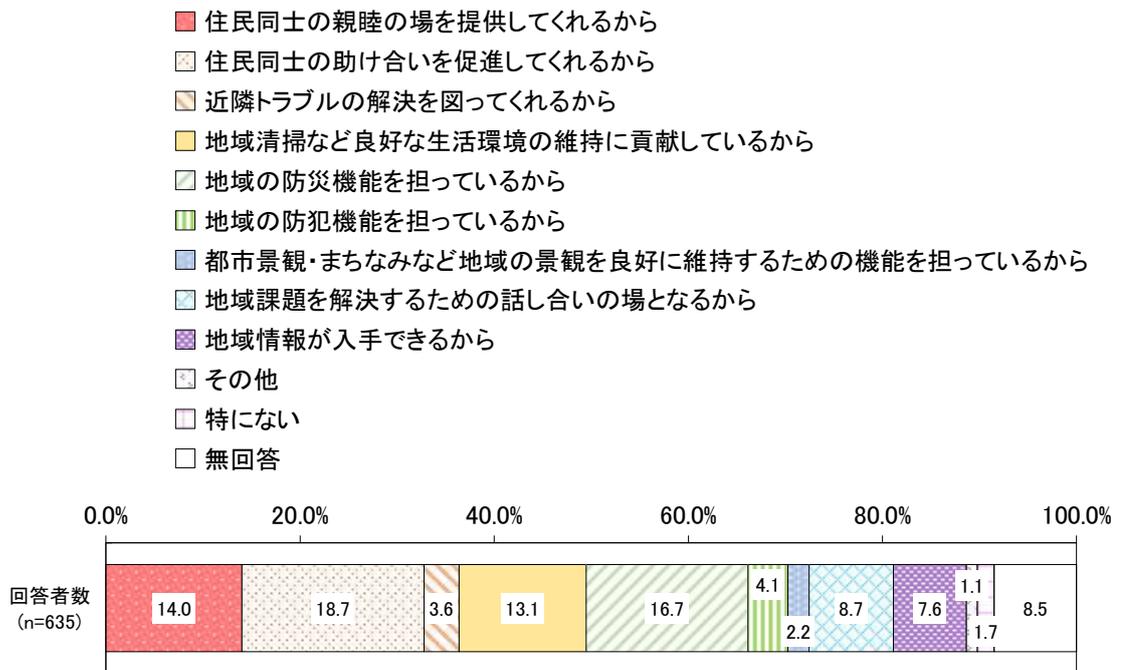
図表 2-21 自治会の必要性（自治会への加入別）



問 20-1 あなたは、自治会の必要性をどのようなところに感じていますか。最も大切だ
と思うものを教えてください。(1つだけ○印)

「住民同士の助け合いを促進してくれるから」の割合が 18.7%と最も高く、次いで「地域の防災機能を担っているから」の割合が 16.7%、「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」の割合が 14.0%となっています。

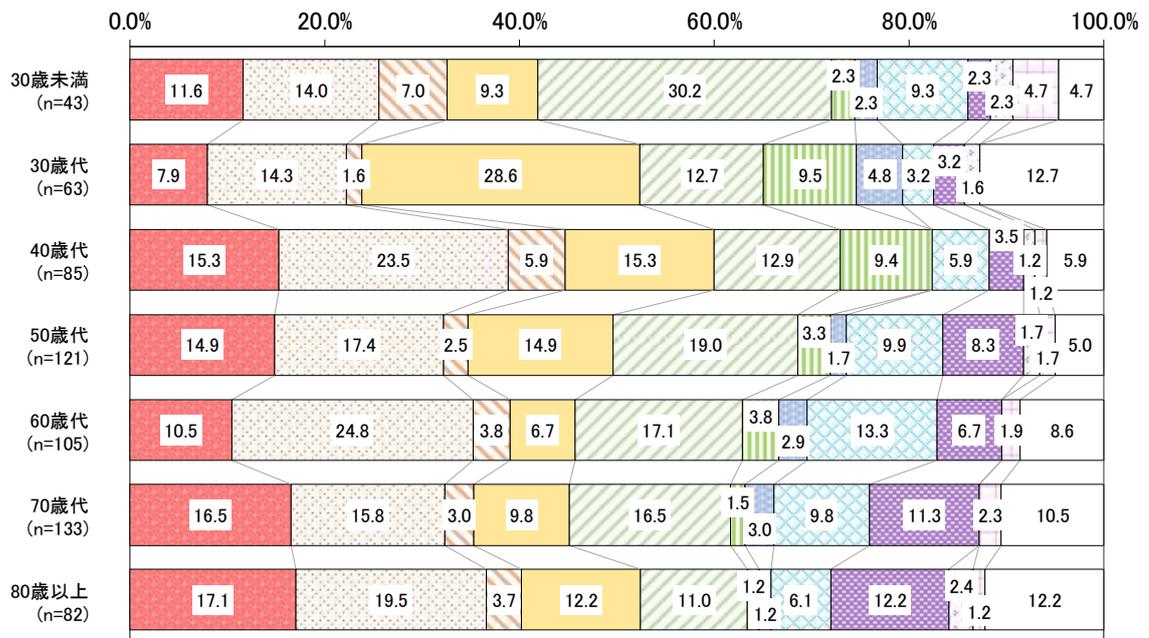
図表 2-22 自治会の必要性を感じる要因 (単純回答)



年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で「地域の防災機能を担っているから」の割合が最も高くなっています。

図表2-23 自治会の必要性を感じる要因（年齢別）

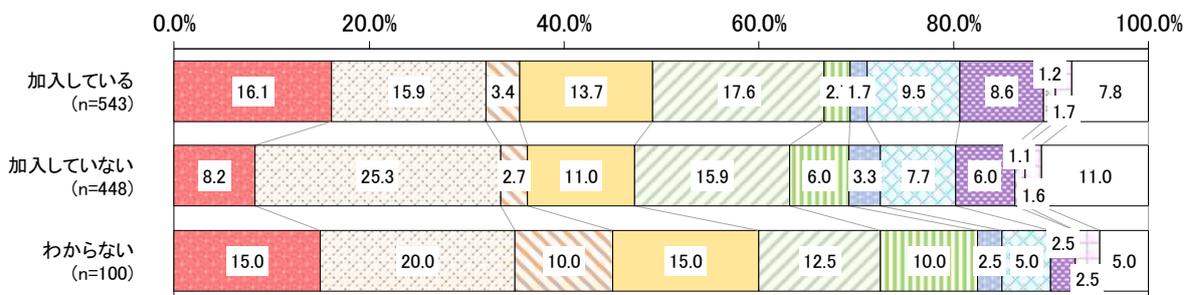
- 住民同士の親睦の場を提供してくれるから
- 住民同士の助け合いを促進してくれるから
- 近隣トラブルの解決を図ってくれるから
- 地域清掃など良好な生活環境の維持に貢献しているから
- 地域の防災機能を担っているから
- 地域の防犯機能を担っているから
- 都市景観・まちなみなど地域の景観を良好に維持するための機能を担っているから
- 地域課題を解決するための話し合いの場となるから
- 地域情報が入手できるから
- その他
- 特にない
- 無回答



自治会への加入別でみると、加入している人は「地域の防災機能を担っているから」を最も選択しています。

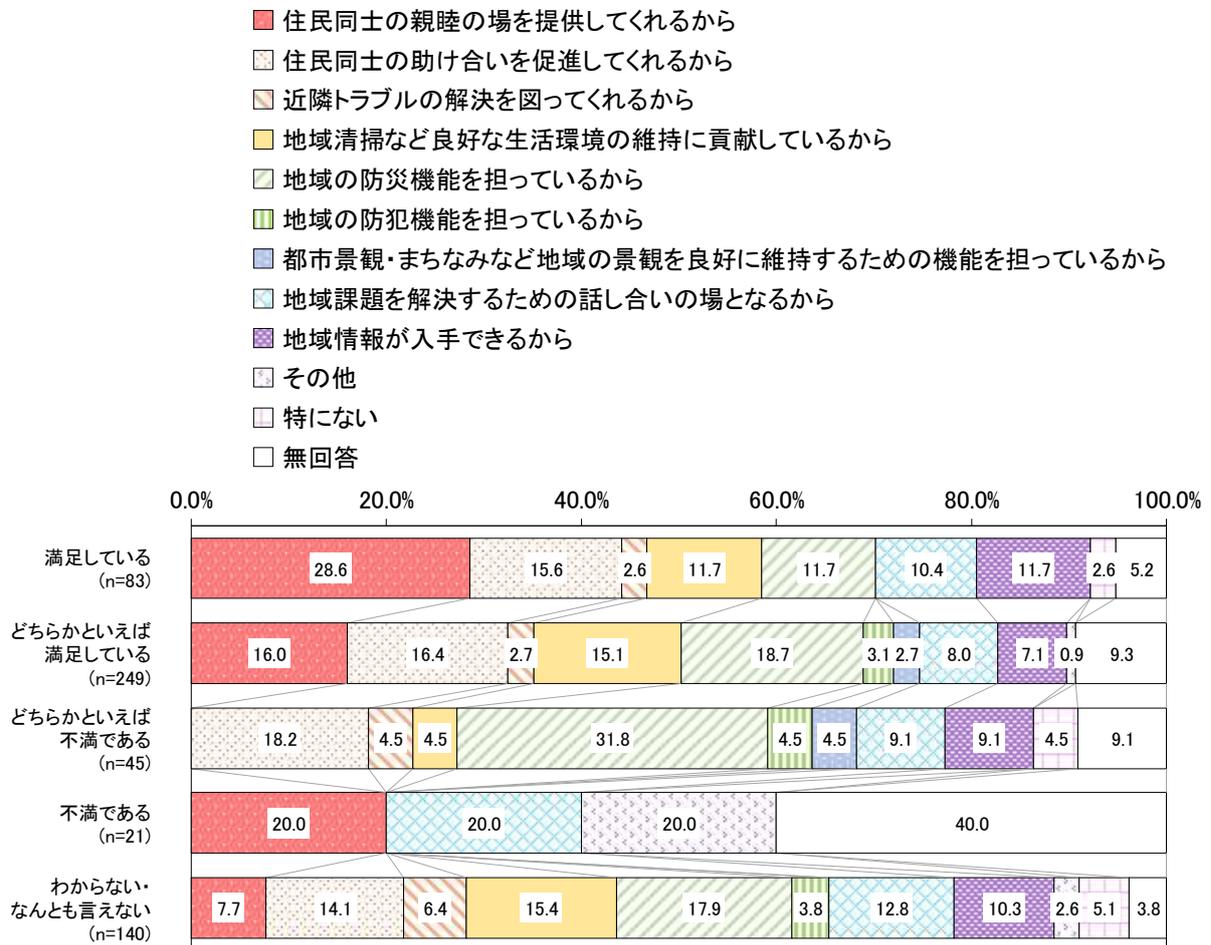
図表 2-24 自治会の必要性を感じる要因（自治会への加入別）

- 住民同士の親睦の場を提供してくれるから
- 住民同士の助け合いを促進してくれるから
- 近隣トラブルの解決を図ってくれるから
- 地域清掃など良好な生活環境の維持に貢献しているから
- 地域の防災機能を担っているから
- 地域の防犯機能を担っているから
- 都市景観・まちなみなど地域の景観を良好に維持するための機能を担っているから
- 地域課題を解決するための話し合いの場となるから
- 地域情報が入手できるから
- その他
- 特にない
- 無回答



自治会活動の満足度別でみると、他に比べ、満足しているで「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」の割合が最も高くなっています。

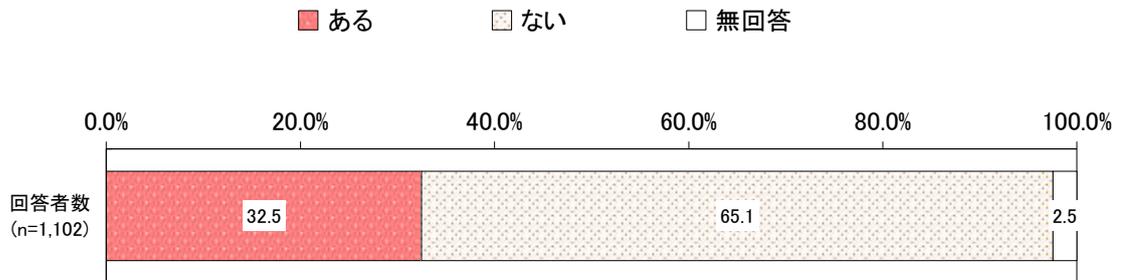
図表 2-25 自治会の必要性を感じる要因（自治会活動の満足度別）



問 21 過去1年間に地域の行事や活動へ参加したことがありますか。(1つだけ○印)

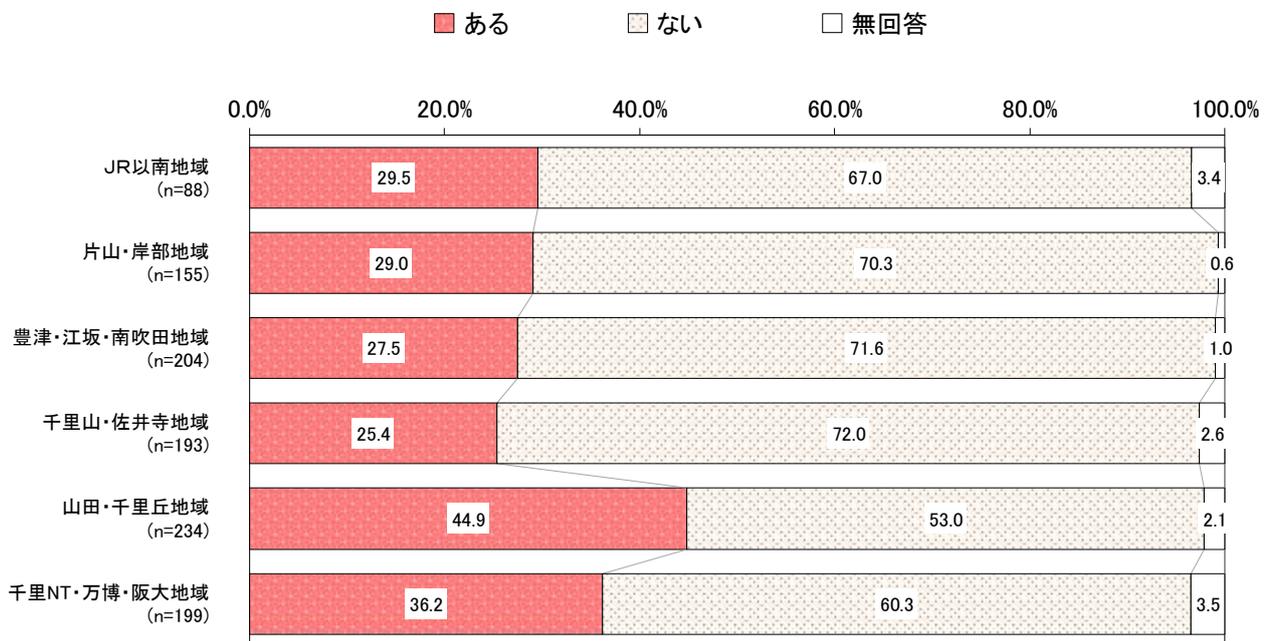
「ある」が32.5%、「ない」が65.1%でした。

図表 2-26 過去1年間の地域行事への参加状況(単純回答)



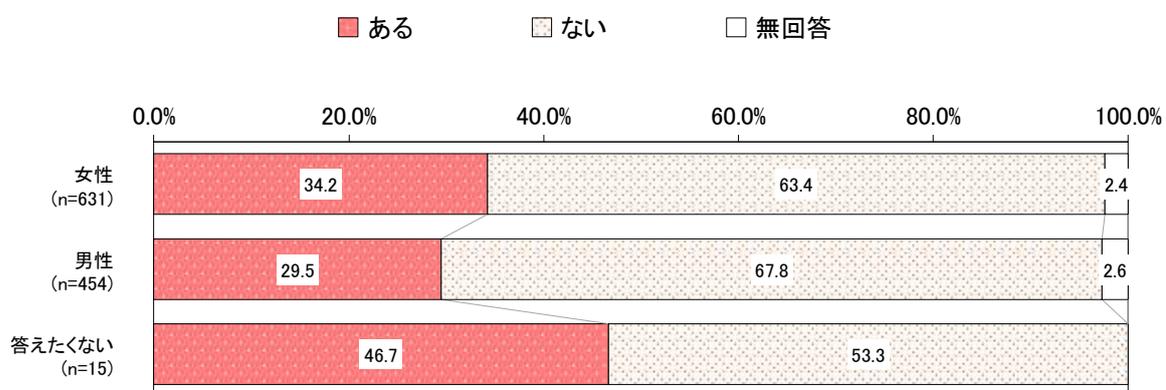
居住地域別で見ると、他に比べ、山田・千里丘地域で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表 2-27 過去1年間の地域行事への参加状況(居住地域別)



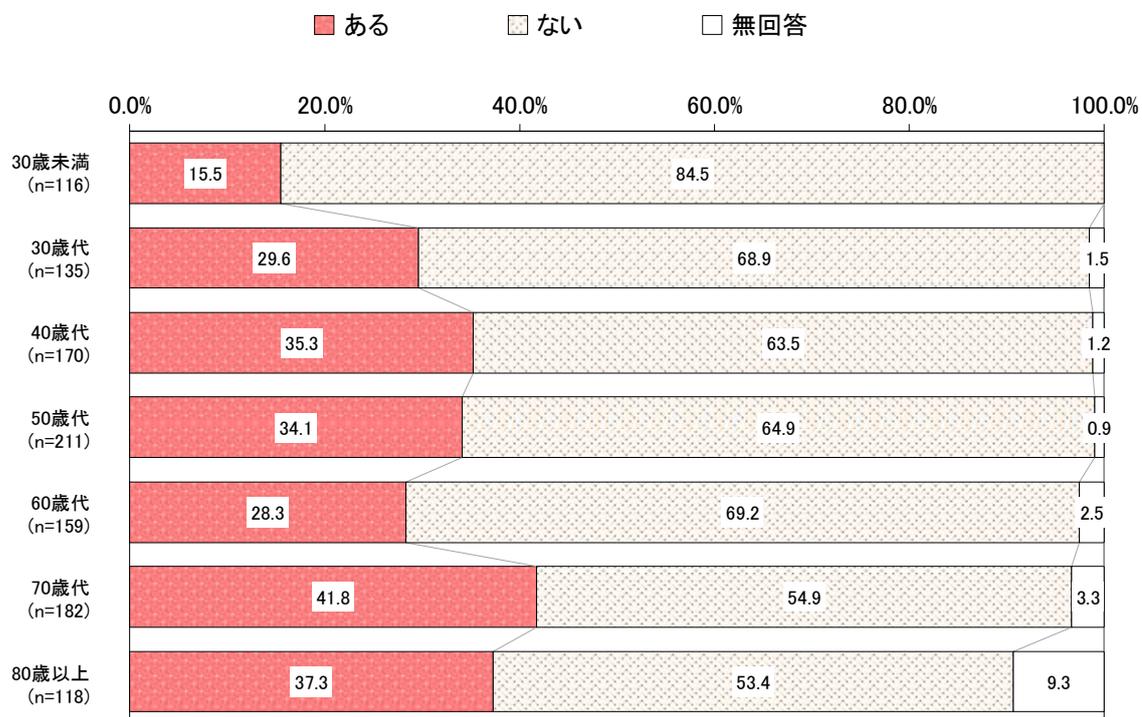
性別でみると、男性より女性の方が「ある」と答えています。

図表 2-28 過去1年間の地域行事への参加状況（性別）



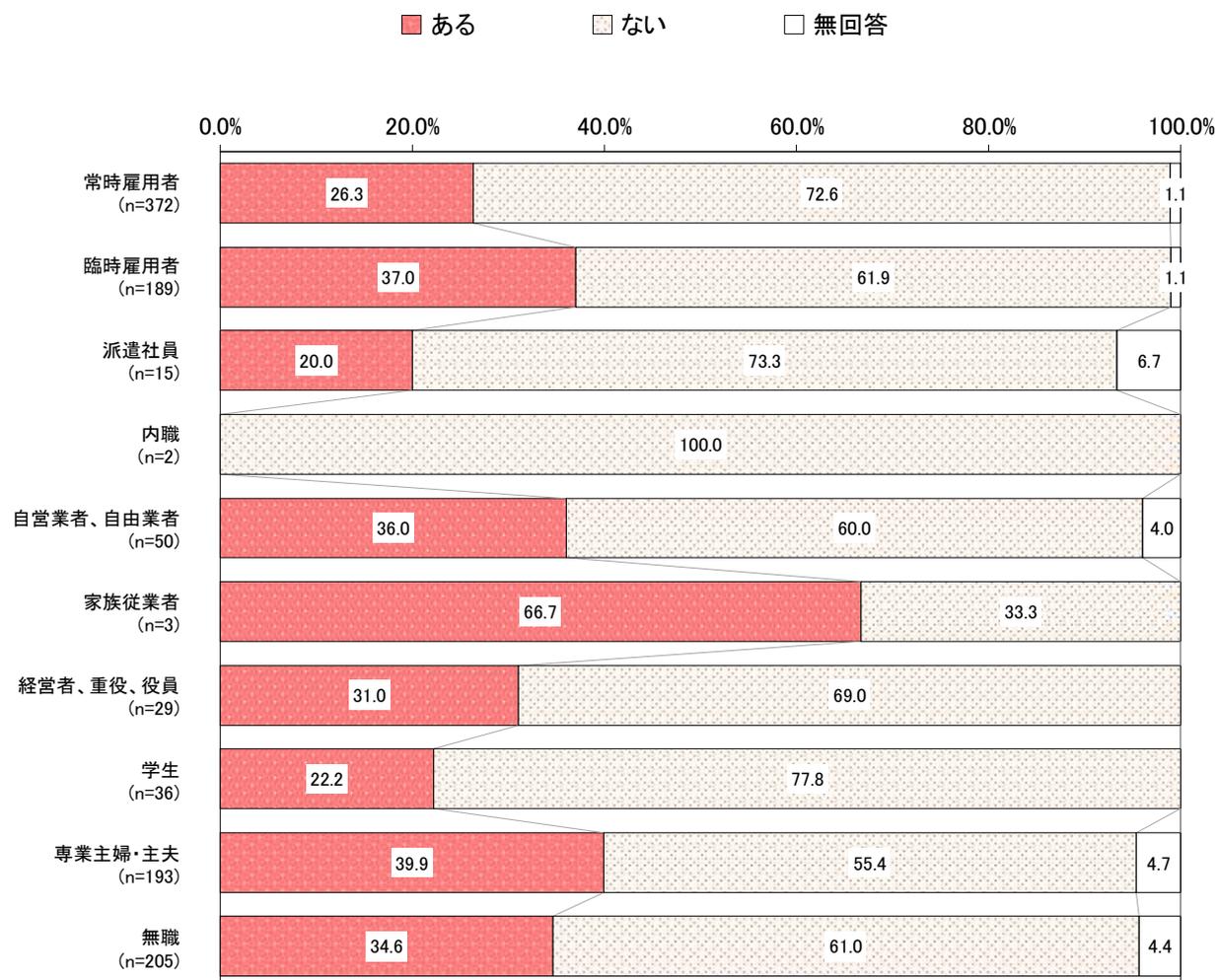
年齢別でみると、他に比べ、70歳代で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表 2-29 過去1年間の地域行事への参加状況（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表 2-30 過去1年間の地域行事への参加状況（職業別）

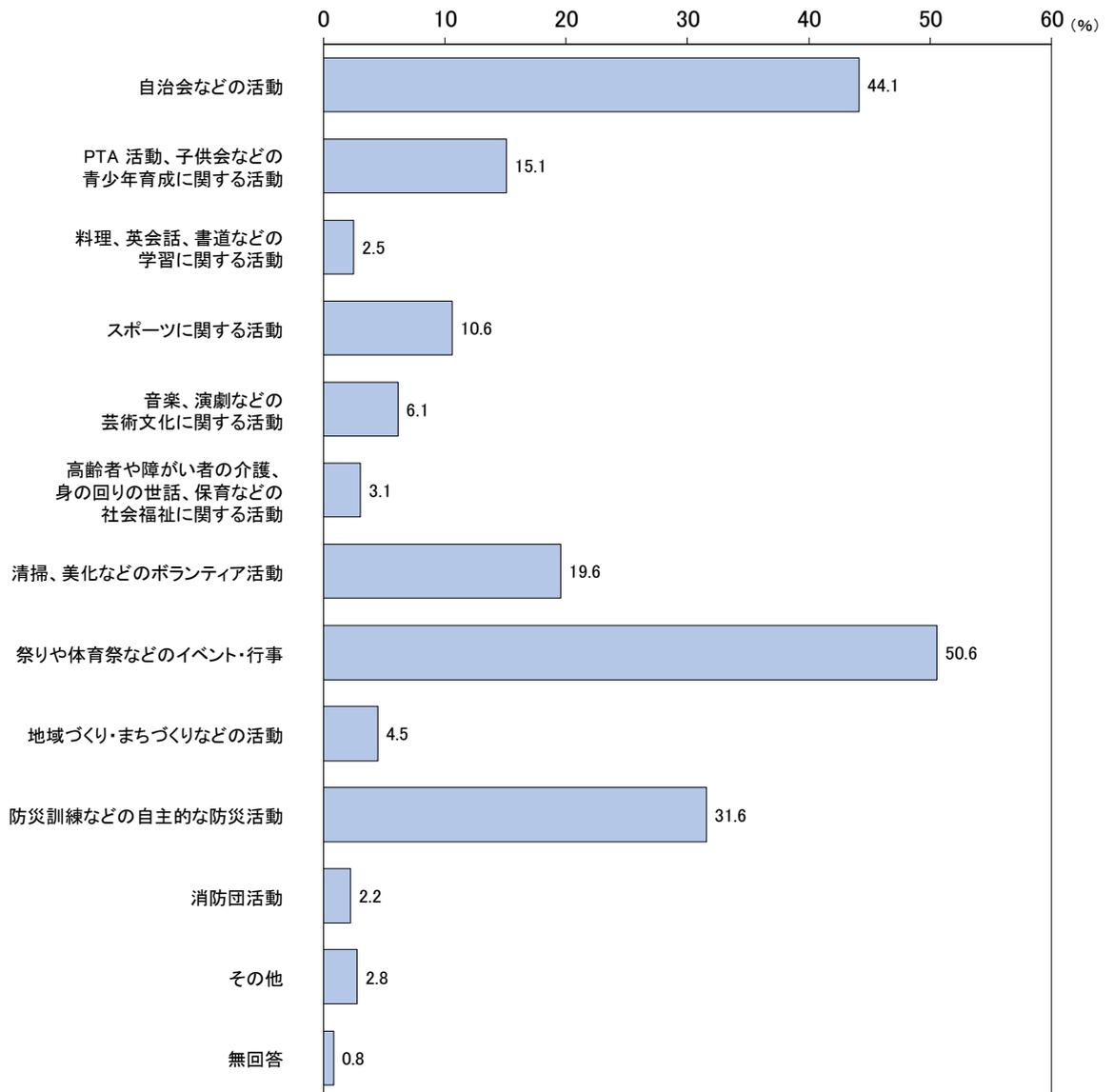


問 21-1 どのような行事や活動へ参加しましたか。(いくつでも)

「祭りや体育祭などのイベント・行事」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「自治会などの活動」の割合が 44.1%、「防災訓練などの自主的な防災活動」の割合が 31.6%となっています。

図表 2-31 参加した行事の内容 (単純回答)

(n=358)



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域で「自治会などの活動」の割合が最も高くなっています。

図表2-32 参加した行事の内容（居住地域別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	自治会などの活動	PTA活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
居住地域別	JR以南地域	26	61.5	19.2	3.8	15.4	7.7	38.5
	片山・岸部地域	45	46.7	13.3	—	17.8	—	4.4
	豊津・江坂・南吹田地域	56	26.8	10.7	—	8.9	5.4	19.6
	千里山・佐井寺地域	49	40.8	20.4	—	10.2	—	22.4
	山田・千里丘地域	105	45.7	11.4	3.8	8.6	6.7	21.9
	千里NT・万博・阪大地域	72	47.2	20.8	4.2	8.3	5.6	18.1

区分	有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	26	57.7	7.7	34.6	7.7	3.8
	片山・岸部地域	45	55.6	—	33.3	2.2	—
	豊津・江坂・南吹田地域	56	58.9	7.1	21.4	1.8	—
	千里山・佐井寺地域	49	44.9	6.1	20.4	—	—
	山田・千里丘地域	105	43.8	2.9	42.9	2.9	1.9
	千里NT・万博・阪大地域	72	52.8	5.6	29.2	1.4	—

性別でみると、女性より男性の方が「祭りや体育祭などのイベント・行事」と答えています。

図表 2-33 参加した行事の内容（性別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	PTA活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
性別	女性	216	39.4	18.1	2.3	10.6	6.0	2.3	18.1
	男性	134	50.0	10.4	3.0	9.7	6.7	4.5	22.4
	答えたくない	7	71.4	14.3	—	28.6	—	—	—

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
性別	女性	216	48.1	3.2	29.6	2.3	1.9	1.4
	男性	134	53.0	6.0	34.3	2.2	4.5	—
	答えたくない	7	71.4	14.3	42.9	—	—	—

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「祭りや体育祭などのイベント・行事」の割合が最も高くなっています。

図表 2-34 参加した行事の内容（年齢別）

単位：%

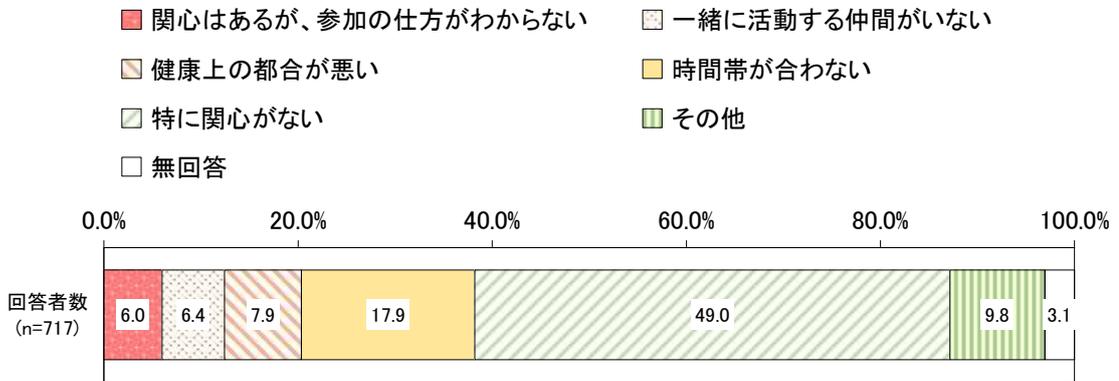
区分	有効回答数（件）	自治会などの活動	PTA活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
30歳未満	18	27.8	5.6	—	11.1	—	—	5.6
30歳代	40	15.0	15.0	2.5	5.0	2.5	—	5.0
40歳代	60	28.3	50.0	5.0	13.3	3.3	—	8.3
50歳代	72	47.2	13.9	2.8	9.7	5.6	1.4	13.9
60歳代	45	51.1	4.4	2.2	6.7	6.7	6.7	26.7
70歳代	76	64.5	3.9	1.3	9.2	10.5	5.3	34.2
80歳以上	44	50.0	4.5	2.3	20.5	9.1	6.8	29.5

区分	有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
30歳未満	18	61.1	—	11.1	5.6	—	11.1
30歳代	40	70.0	2.5	17.5	—	—	2.5
40歳代	60	68.3	1.7	16.7	—	—	—
50歳代	72	45.8	6.9	40.3	5.6	—	—
60歳代	45	40.0	2.2	28.9	2.2	—	—
70歳代	76	43.4	6.6	44.7	2.6	6.6	—
80歳以上	44	38.6	6.8	38.6	—	11.4	—

問 21-2 参加したことがない主な理由を教えてください。(1つだけ〇印)

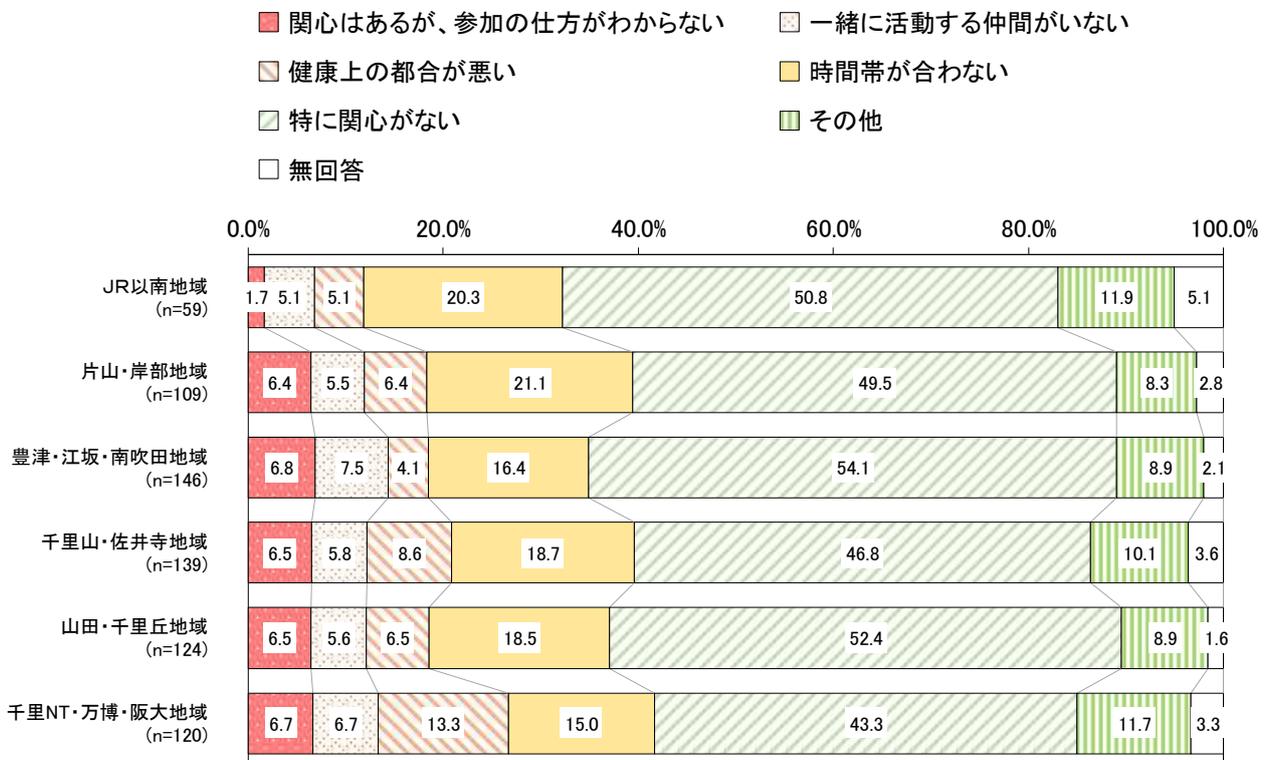
「特に関心がない」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「時間帯が合わない」の割合が 17.9%、「健康上の都合が悪い」の割合が 7.9%となっています。

図表 2-35 地域行事の不参加理由 (単純回答)



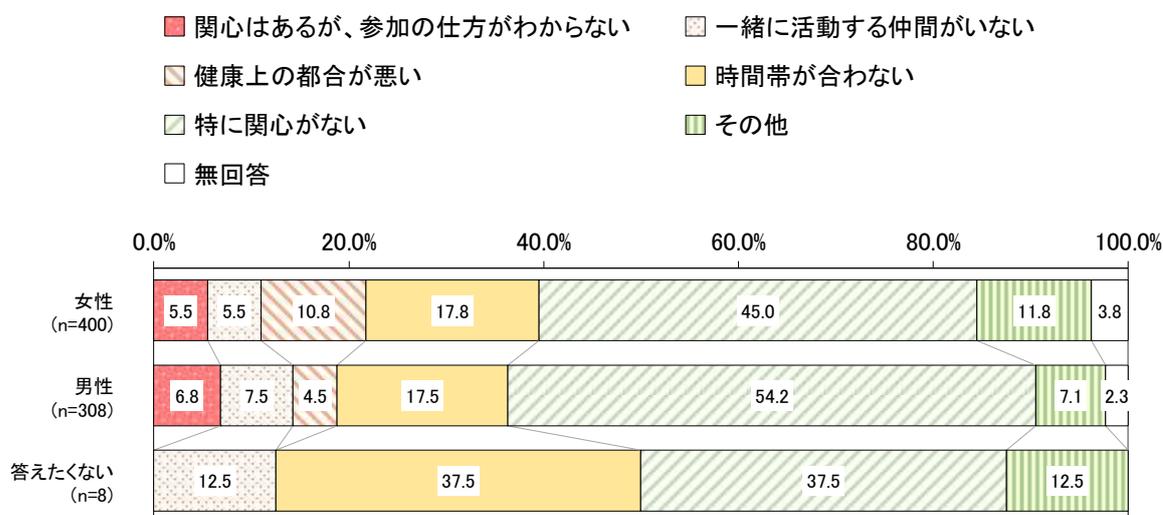
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「特に関心がない」の割合が最も高くなっています。

図表 2-36 地域行事の不参加理由 (居住地域別)



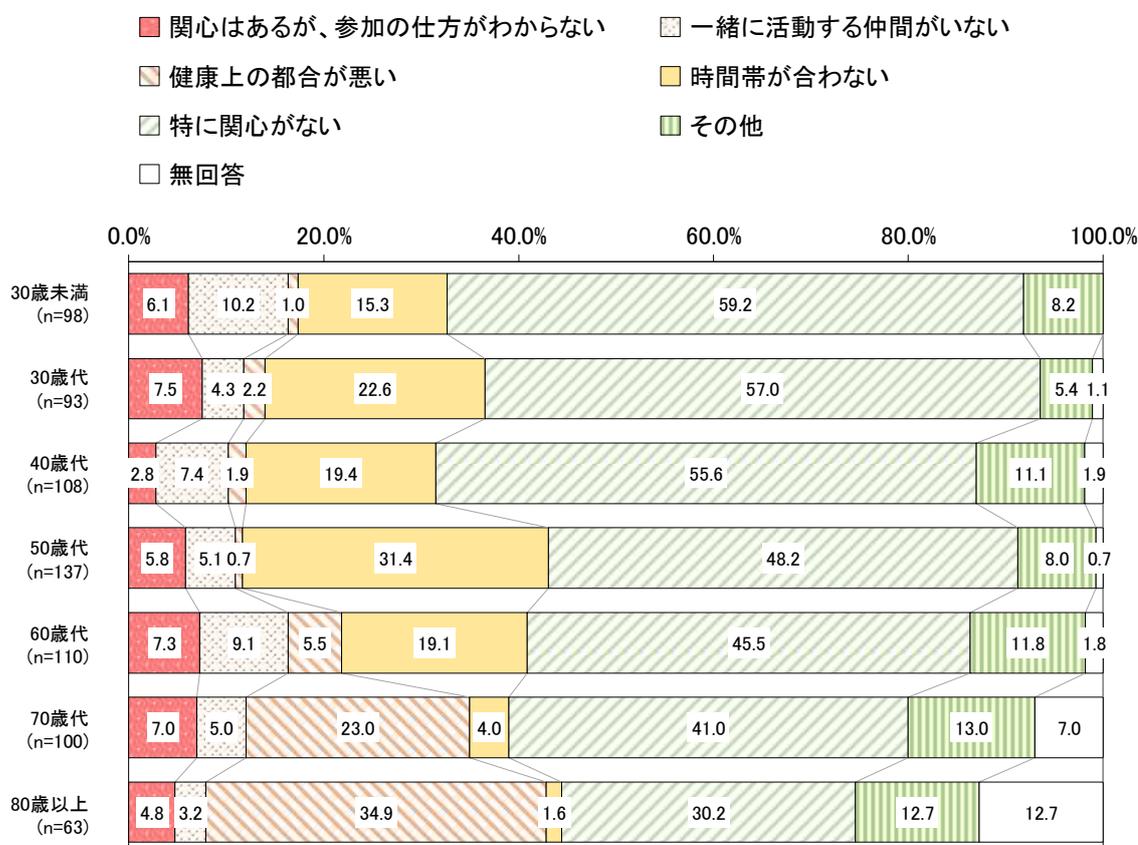
性別でみると、女性より男性の方が「特に関心がない」と答えています。

図表 2-37 地域行事の不参加理由（性別）



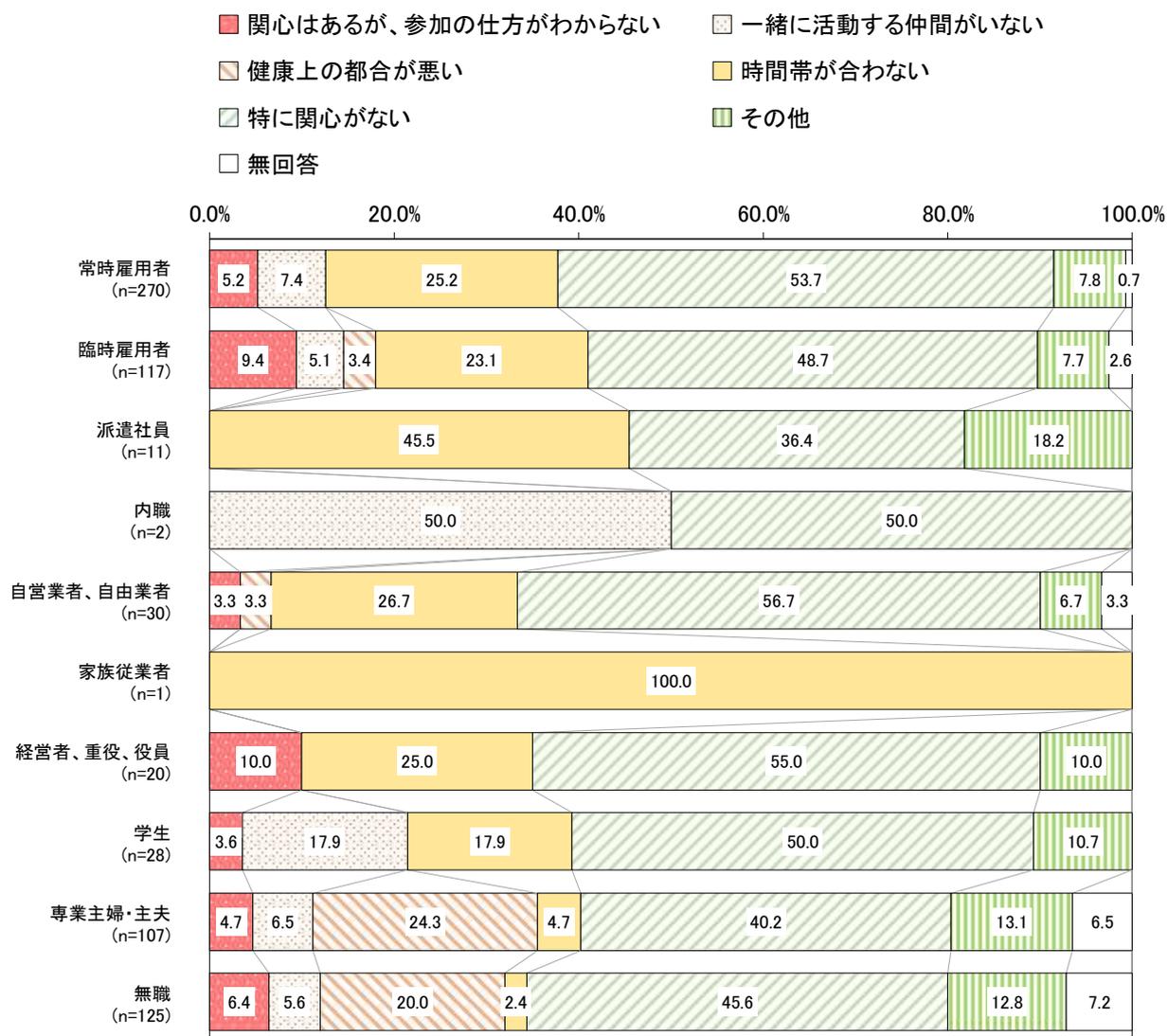
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で「特に関心がない」の割合が最も高くなっています。

図表 2-38 地域行事の不参加理由（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、自営業者、自由業者で「特に関心がない」の割合が最も高くなっています。

図表 2-39 地域行事の不参加理由（職業別）

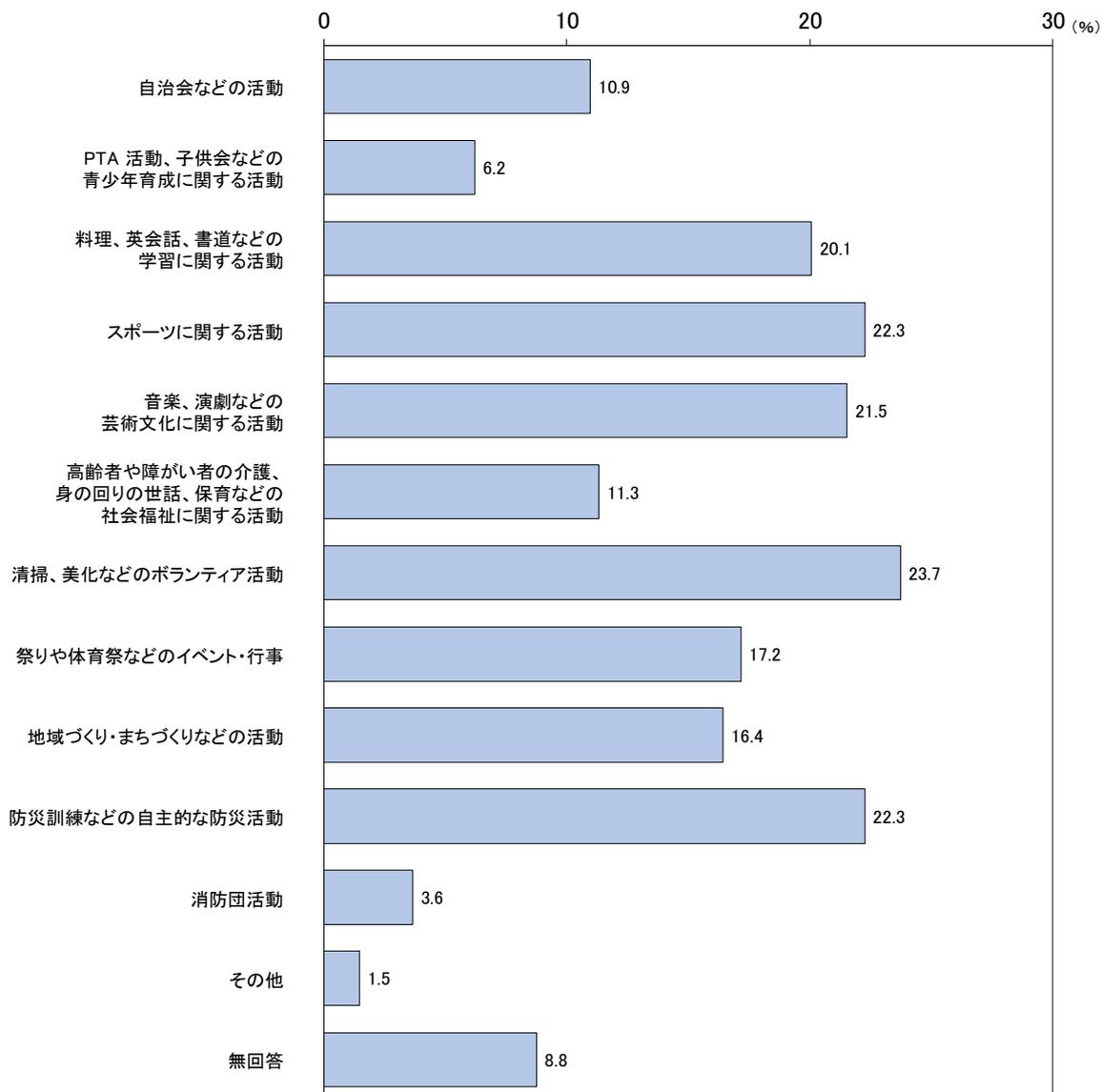


問 21-3 参加できる状況になったときに、どのような行事や活動へ参加したいと思えますか。(いくつでも)

「清掃、美化などのボランティア活動」の割合が 23.7%と最も高く、次いで「スポーツに関する活動」、「防災訓練などの自主的な防災活動」の割合が 22.3%、「音楽、演劇などの芸術文化に関する活動」の割合が 21.5%となっています。

図表 2-40 参加したいと思う行事の内容（単純回答）

(n=274)



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「清掃、美化などのボランティア活動」の割合が最も高くなっています。

図表 2-41 参加したいと思う行事の内容（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	PTA活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
居住地域別	JR以南地域	19	15.8	—	15.8	21.1	21.1	5.3	15.8
	片山・岸部地域	43	11.6	14.0	23.3	20.9	11.6	7.0	20.9
	豊津・江坂・南吹田地域	51	2.0	5.9	21.6	27.5	17.6	13.7	25.5
	千里山・佐井寺地域	55	12.7	3.6	18.2	21.8	25.5	9.1	32.7
	山田・千里丘地域	46	4.3	4.3	26.1	26.1	28.3	13.0	26.1
	千里NT・万博・阪大地域	50	20.0	6.0	16.0	20.0	26.0	14.0	16.0

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	19	15.8	21.1	31.6	—	—	10.5
	片山・岸部地域	43	9.3	18.6	23.3	11.6	2.3	9.3
	豊津・江坂・南吹田地域	51	27.5	13.7	13.7	—	3.9	3.9
	千里山・佐井寺地域	55	10.9	16.4	23.6	1.8	—	12.7
	山田・千里丘地域	46	23.9	21.7	26.1	4.3	2.2	6.5
	千里NT・万博・阪大地域	50	14.0	14.0	22.0	4.0	—	8.0

性別でみると、男性より女性の方が「音楽、演劇などの芸術文化に関する活動」と答えています。一方、女性より男性の方が「スポーツに関する活動」と答えています。

図表 2-42 参加したいと思う行事の内容（性別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	PTA活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
性別	女性	158	8.9	5.1	22.8	16.5	29.1	10.1	22.2
	男性	112	13.4	7.1	17.0	30.4	9.8	12.5	25.9
	答えたくない	4	25.0	25.0	—	25.0	50.0	25.0	25.0

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
性別	女性	158	18.4	12.7	19.0	2.5	1.3	12.0
	男性	112	16.1	21.4	25.0	5.4	1.8	4.5
	答えたくない	4	—	25.0	75.0	—	—	—

年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で「祭りや体育祭などのイベント・行事」の割合が最も高くなっています。

図表2-43 参加したいと思う行事の内容（年齢別）

単位：％

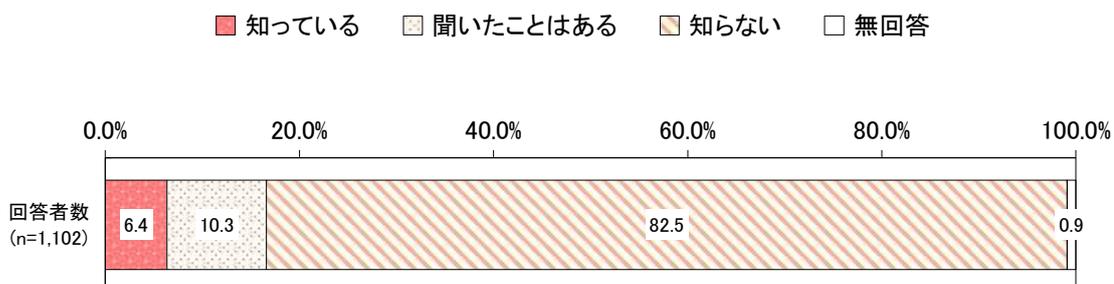
区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	PTA活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
年齢別	30歳未満	32	9.4	6.3	21.9	28.1	31.3	6.3	12.5
	30歳代	34	5.9	17.6	14.7	23.5	20.6	8.8	23.5
	40歳代	34	5.9	8.8	23.5	23.5	26.5	11.8	29.4
	50歳代	59	10.2	6.8	23.7	32.2	16.9	10.2	42.4
	60歳代	45	15.6	2.2	26.7	28.9	22.2	13.3	15.6
	70歳代	39	12.8	2.6	17.9	7.7	25.6	7.7	17.9
	80歳以上	28	17.9	—	7.1	—	10.7	25.0	14.3

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
年齢別	30歳未満	32	43.8	21.9	21.9	9.4	—	—
	30歳代	34	38.2	8.8	11.8	—	—	2.9
	40歳代	34	14.7	20.6	35.3	5.9	2.9	—
	50歳代	59	15.3	23.7	28.8	5.1	—	5.1
	60歳代	45	—	20.0	24.4	2.2	—	6.7
	70歳代	39	5.1	12.8	17.9	2.6	5.1	17.9
	80歳以上	28	14.3	—	10.7	—	3.6	28.6

問 22 あなたは、吹田市市民公益活動センター（愛称ラコルタ）をご存知ですか。
（1つだけ〇印）

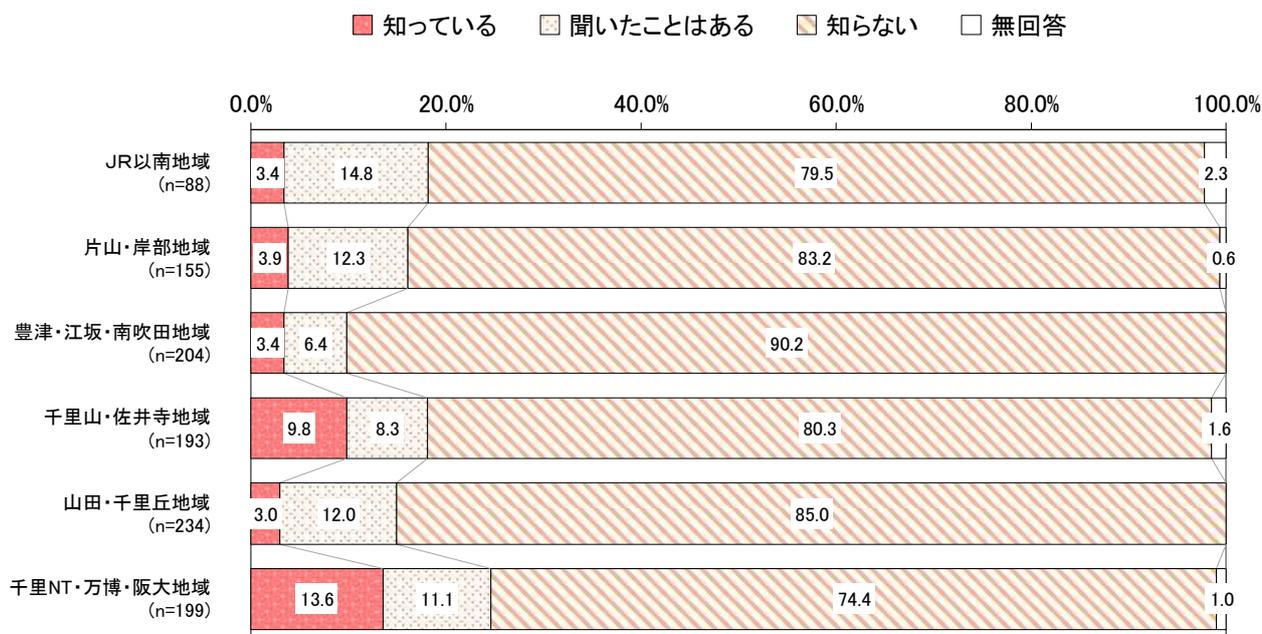
「知っている」が6.4%、「聞いたことはある」が10.3%、「知らない」が82.5%となっています。

図表 2-44 吹田市市民公益活動センターの認知度（単純回答）



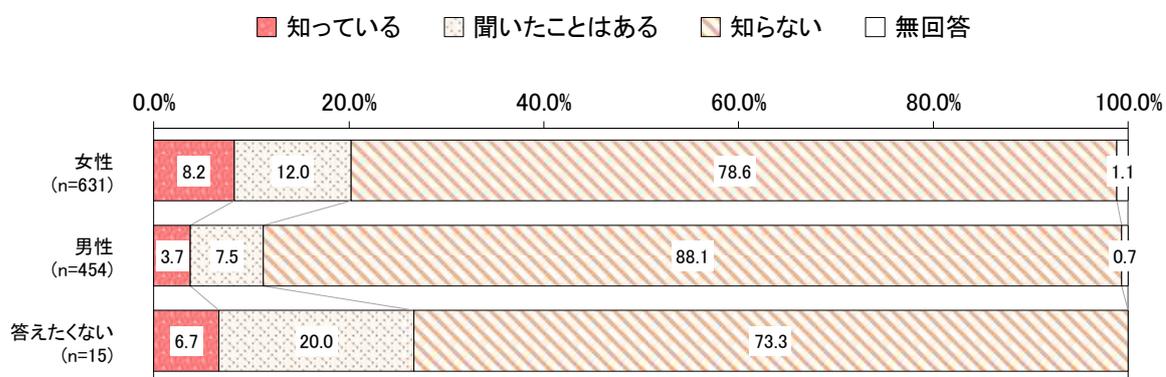
居住地域別で見ると、他に比べ、市民公益活動センターが存在する千里NT・万博・阪大地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表 2-45 吹田市市民公益活動センターの認知度（居住地域別）



性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表 2-46 吹田市市民公益活動センターの認知度（性別）



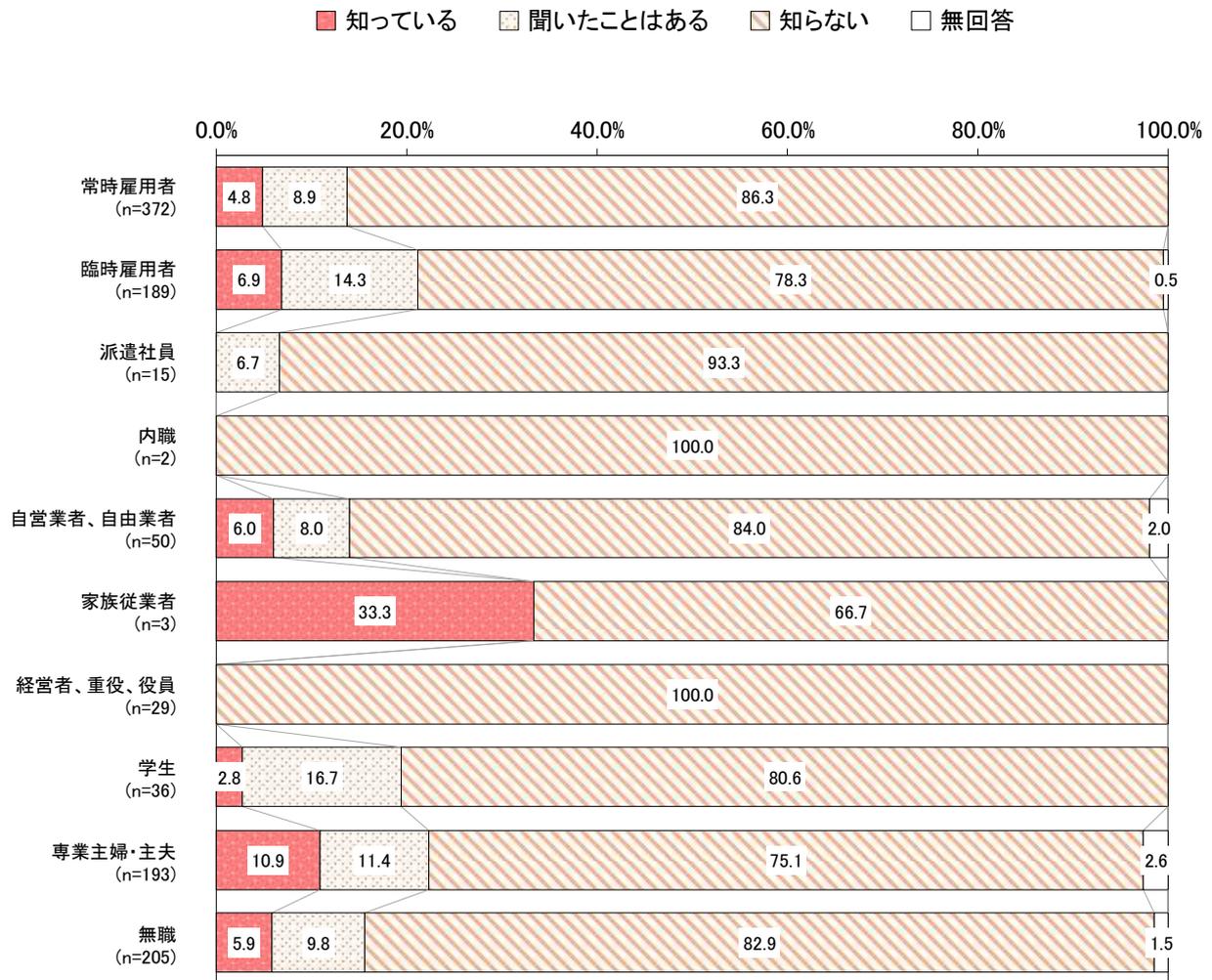
年齢別でみると、30歳未満では「知っている」と答える人が、特に少ない傾向にあります。

図表 2-47 吹田市市民公益活動センターの認知度（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「知っている」の割合が最も高くなっています。

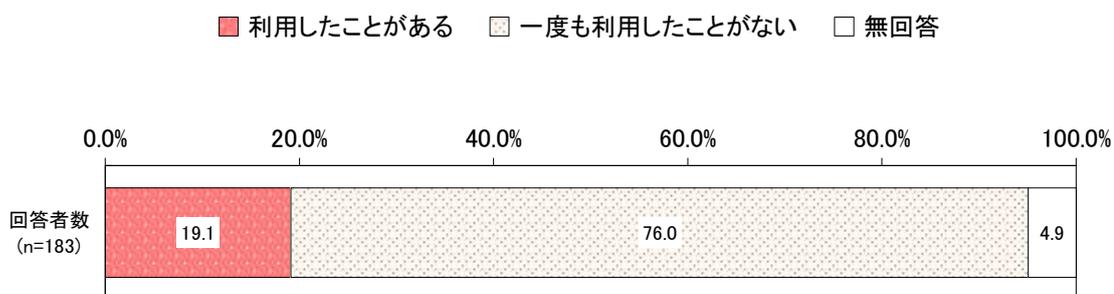
図表 2-48 吹田市市民公益活動センターの認知度（職業別）



問 22-1 吹田市市民公益活動センター（愛称ラコルタ）を利用したことがありますか。
（1つだけ〇印）

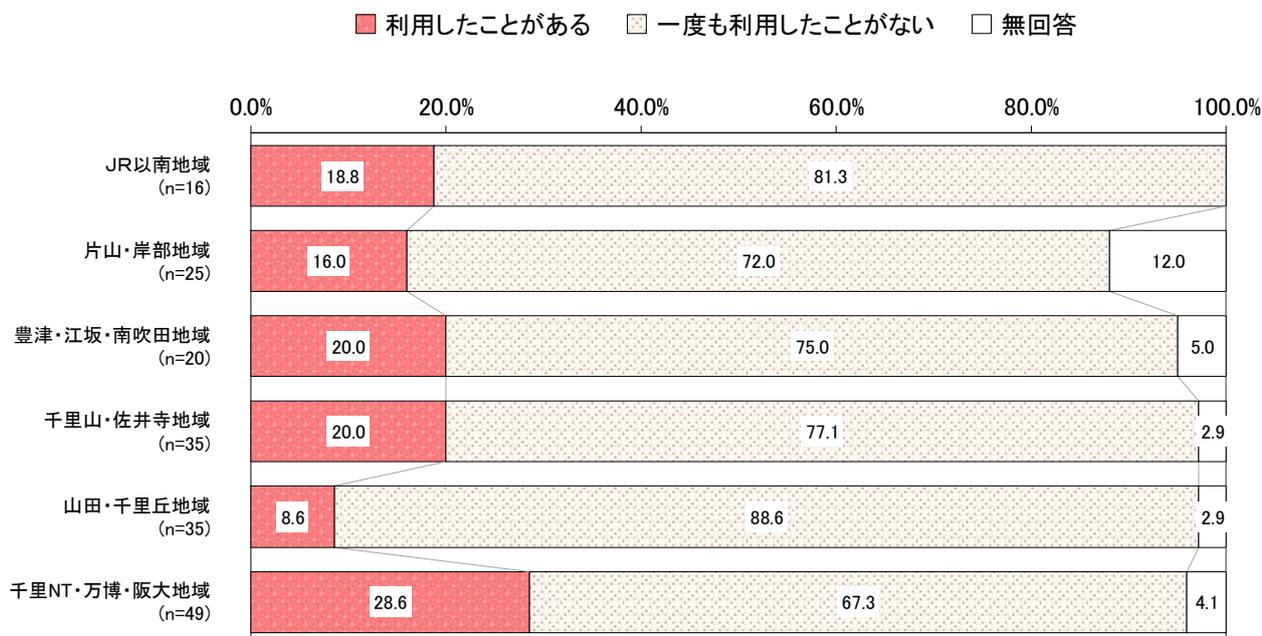
「利用したことがある」が19.1%、「一度も利用したことがない」が76.0%でした。

図表 2-49 吹田市市民公益活動センターの利用経験（単純回答）



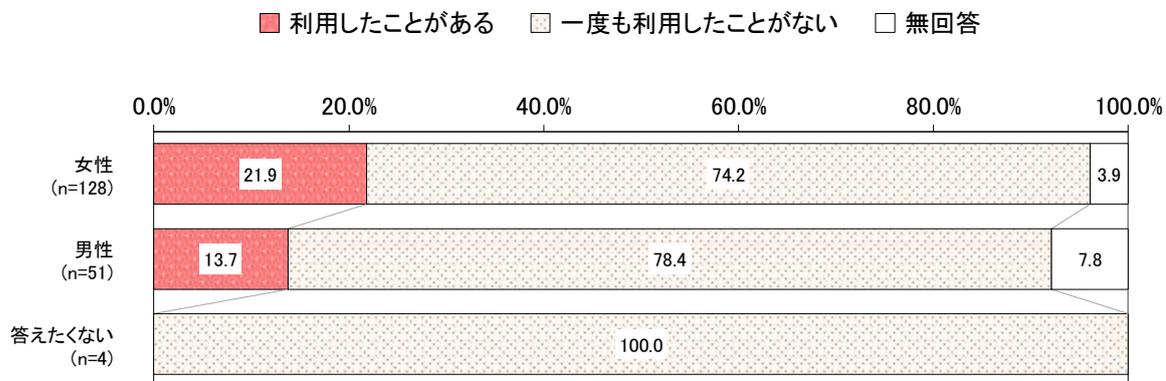
居住地域別でみると、他に比べ、市民公益活動センターが存在する千里NT・万博・阪大地域で「利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

図表 2-50 吹田市市民公益活動センターの利用経験（居住地域別）



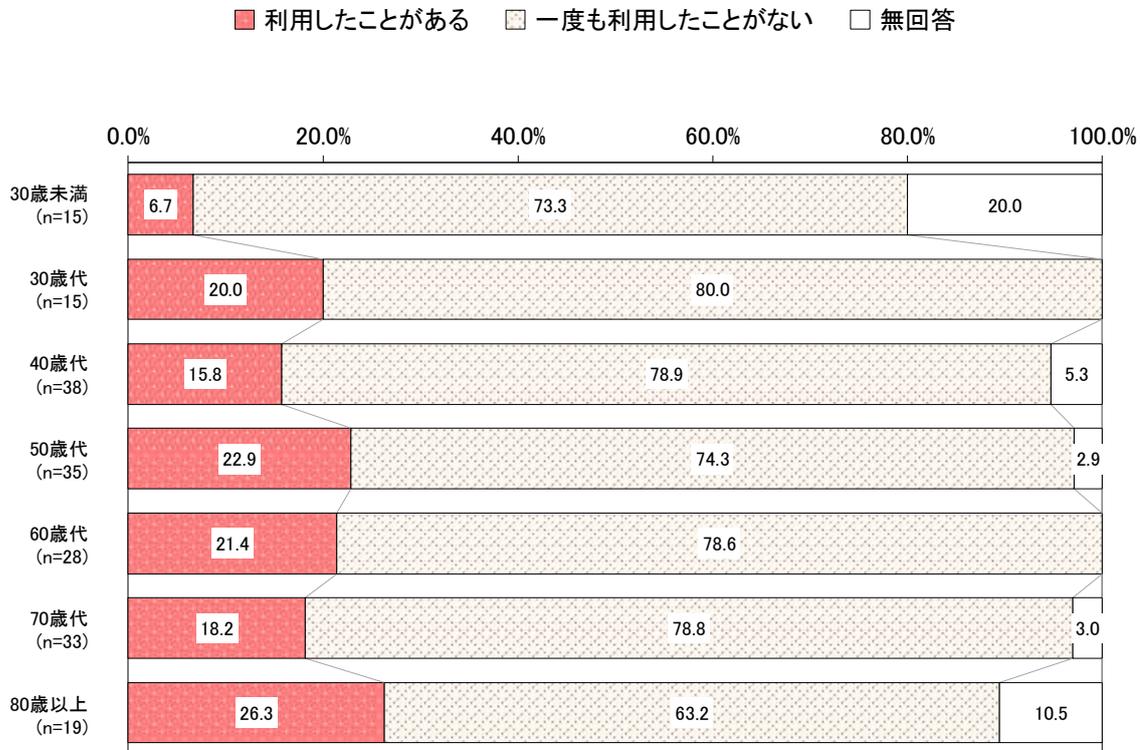
性別でみると、男性より女性の方が「利用したことがある」と答えています。

図表 2-51 吹田市市民公益活動センターの利用経験（性別）



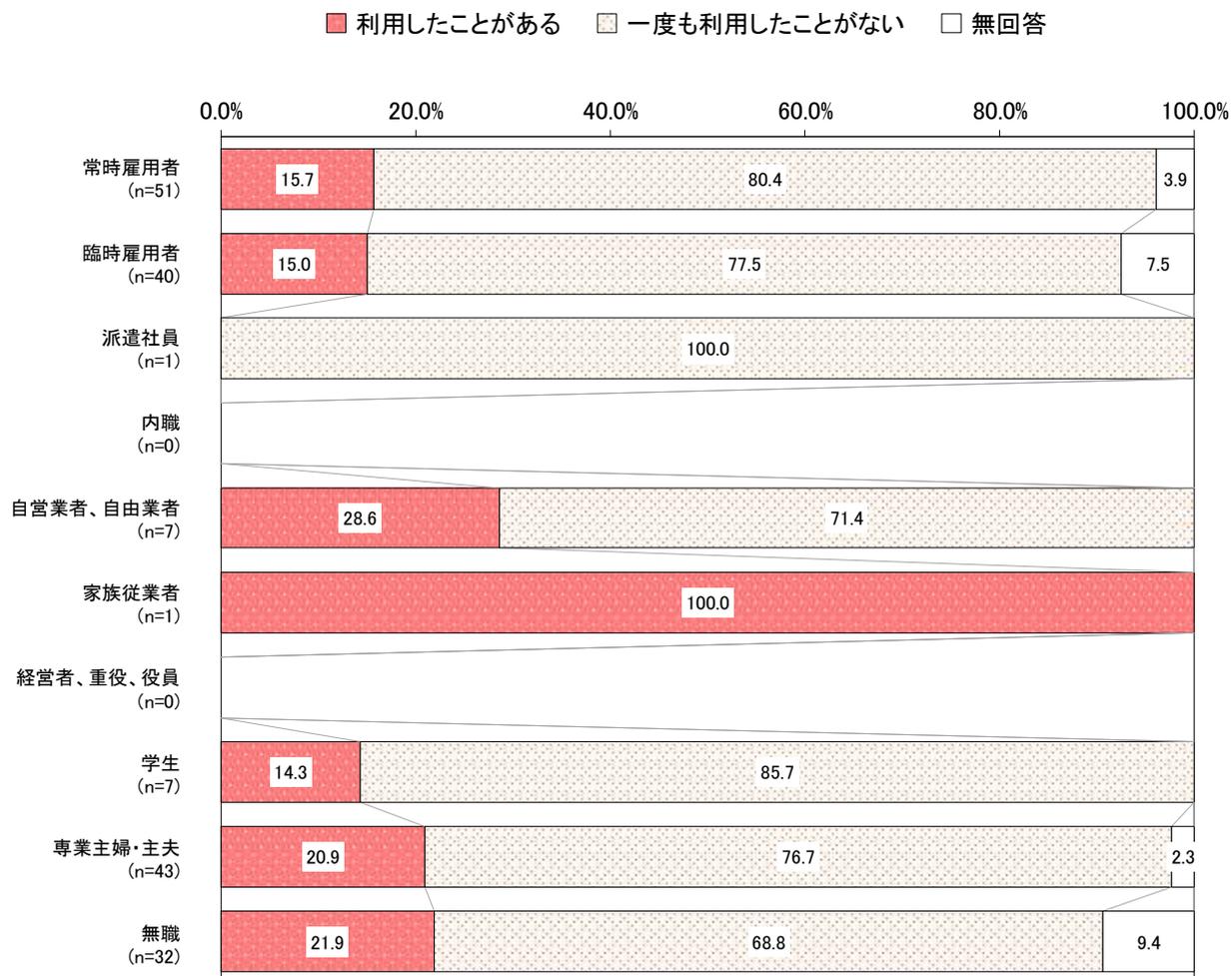
年齢別でみると、他に比べ、80歳以上で「利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

図表 2-52 吹田市市民公益活動センターの利用経験（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

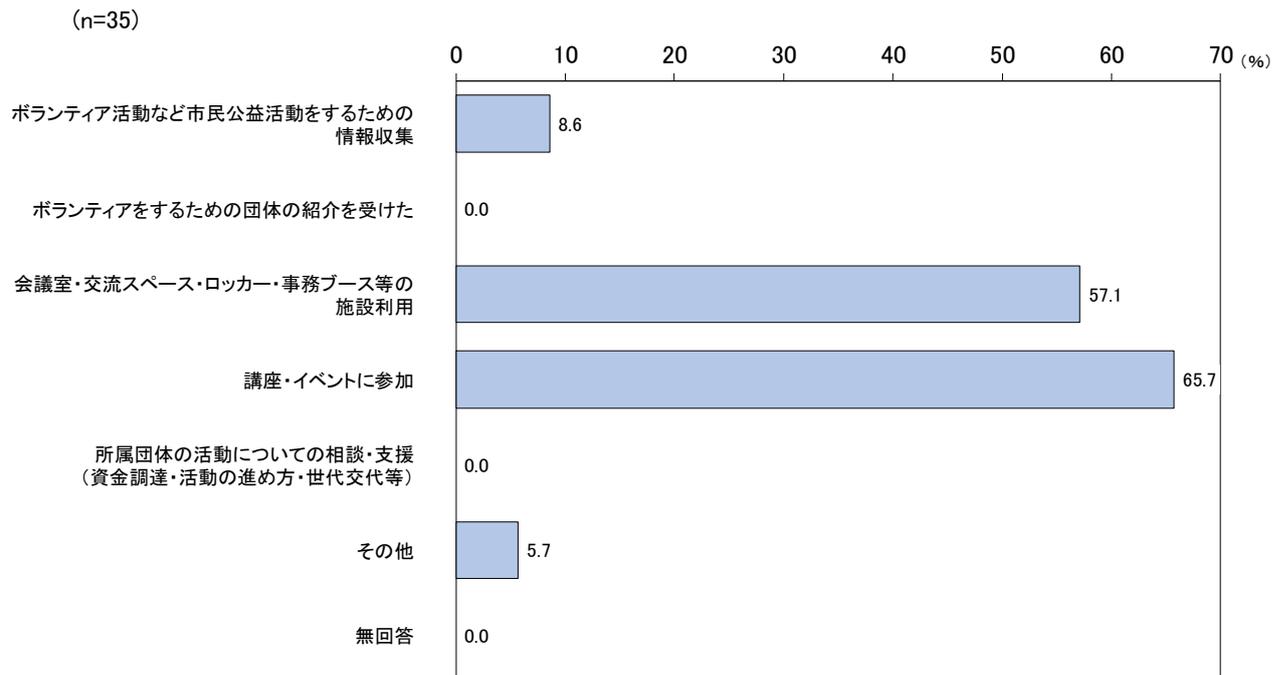
図表 2-53 吹田市市民公益活動センターの利用経験（職業別）



問 22-2 どのような内容で利用しましたか。(いくつでも)

「講座・イベントに参加」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用」の割合が 57.1%、「ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集」の割合が 8.6%となっています。

図表 2-54 吹田市市民公益活動センターの利用目的 (単純回答)



居住地域別でも「会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用」「講座・イベントに参加」に回答が集中しています。

図表 2-55 吹田市市民公益活動センターの利用目的（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	ボランティアをするための団体の紹介を受けた	会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	講座・イベントに参加	所属団体の活動についての相談・支援	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	3	33.3	—	100.0	66.7	—	—	—
	片山・岸部地域	4	25.0	—	50.0	75.0	—	—	—
	豊津・江坂・南吹田地域	4	—	—	75.0	50.0	—	—	—
	千里山・佐井寺地域	7	14.3	—	28.6	100.0	—	—	—
	山田・千里丘地域	3	—	—	33.3	66.7	—	—	—
	千里NT・万博・阪大地域	14	—	—	64.3	50.0	—	14.3	—

性別でみると、男性より女性の方が「講座・イベントに参加」と答えています。一方、女性より男性の方が「会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用」と答えています。

図表 2-56 吹田市市民公益活動センターの利用目的（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	ボランティアをするための団体の紹介を受けた	会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	講座・イベントに参加	所属団体の活動についての相談・支援	その他	無回答
性別	女性	28	7.1	—	53.6	67.9	—	—	—
	男性	7	14.3	—	71.4	57.1	—	28.6	—
	答えたくない	0	—	—	—	—	—	—	—

年齢別でも「会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用」「講座・イベントに参加」に回答が集中しています。

図表 2-57 吹田市市民公益活動センターの利用目的（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	ボランティアをするための団体の紹介を受けた	会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	講座・イベントに参加	所属団体の活動についての相談・支援	その他	無回答
年齢別	30歳未満	1	—	—	—	—	—	100.0	—
	30歳代	3	—	—	66.7	100.0	—	—	—
	40歳代	6	—	—	66.7	33.3	—	16.7	—
	50歳代	8	—	—	62.5	62.5	—	—	—
	60歳代	6	16.7	—	66.7	50.0	—	—	—
	70歳代	6	33.3	—	33.3	100.0	—	—	—
	80歳以上	5	—	—	60.0	80.0	—	—	—

職業別でみると、他に比べ、自営業者、自由業者、家族従業者で「講座・イベントに参加」の割合が最も高くなっています。

図表 2-58 吹田市市民公益活動センターの利用目的（職業別）

単位：％

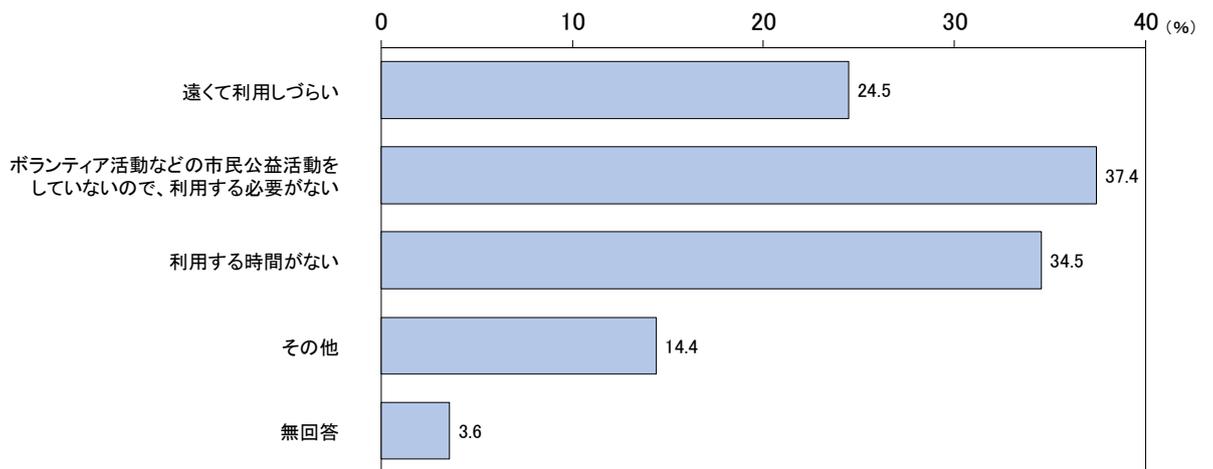
区分		有効回答数（件）	ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	ボランティアをするための団体の紹介を受けた	会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	講座・イベントに参加	所属団体の活動についての相談・支援	その他	無回答
職業別	常時雇用者	8	12.5	—	87.5	50.0	—	12.5	—
	臨時雇用者	6	—	—	66.7	50.0	—	—	—
	派遣社員	0	—	—	—	—	—	—	—
	内職	0	—	—	—	—	—	—	—
	自営業者、自由業者	2	—	—	50.0	100.0	—	—	—
	家族従業者	1	—	—	—	100.0	—	—	—
	経営者、重役、役員	0	—	—	—	—	—	—	—
	学生	1	—	—	—	—	—	100.0	—
	専業主婦・主夫	9	—	—	44.4	66.7	—	—	—
	無職	7	28.6	—	57.1	85.7	—	—	—

問 22-3 一度も利用したことがない理由を教えてください。(いくつでも)

「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」の割合が37.4%と最も高く、次いで「利用する時間がない」の割合が34.5%、「遠くて利用しづらい」の割合が24.5%となっています。

図表 2-59 吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（単純回答）

(n=139)



居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸部地域で「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。

図表 2-60 吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数 (件)	遠くて利用しづらい	ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	利用する時間がない	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	13	30.8	38.5	15.4	23.1	—
	片山・岸部地域	18	50.0	55.6	16.7	5.6	5.6
	豊津・江坂・南吹田地域	15	26.7	20.0	53.3	13.3	—
	千里山・佐井寺地域	27	7.4	33.3	51.9	18.5	—
	山田・千里丘地域	31	35.5	41.9	22.6	12.9	3.2
	千里NT・万博・阪大地域	33	9.1	36.4	42.4	15.2	6.1

性別で見ると、男性より女性の方が「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」と答えています。女性より男性の方が「利用する時間がない」と答えています。

図表 2-61 吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数 (件)	遠くて利用しづらい	ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	利用する時間がない	その他	無回答
性別	女性	95	28.4	37.9	27.4	18.9	4.2
	男性	40	15.0	35.0	50.0	5.0	2.5
	答えたくない	4	25.0	50.0	50.0	—	—

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。

図表 2-62 吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（年齢別）

単位：%

区分		有効回答数 (件)	遠くて利用しづらい	ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	利用する時間がない	その他	無回答
年齢別	30歳未満	11	27.3	36.4	36.4	18.2	—
	30歳代	12	25.0	58.3	16.7	16.7	8.3
	40歳代	30	30.0	33.3	33.3	13.3	3.3
	50歳代	26	23.1	38.5	46.2	11.5	—
	60歳代	22	22.7	50.0	36.4	13.6	—
	70歳代	26	19.2	26.9	34.6	11.5	11.5
	80歳以上	12	25.0	25.0	25.0	25.0	—

職業別でみると、他に比べ、自営業者、自由業者で「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。

図表 2-63 吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（職業別）

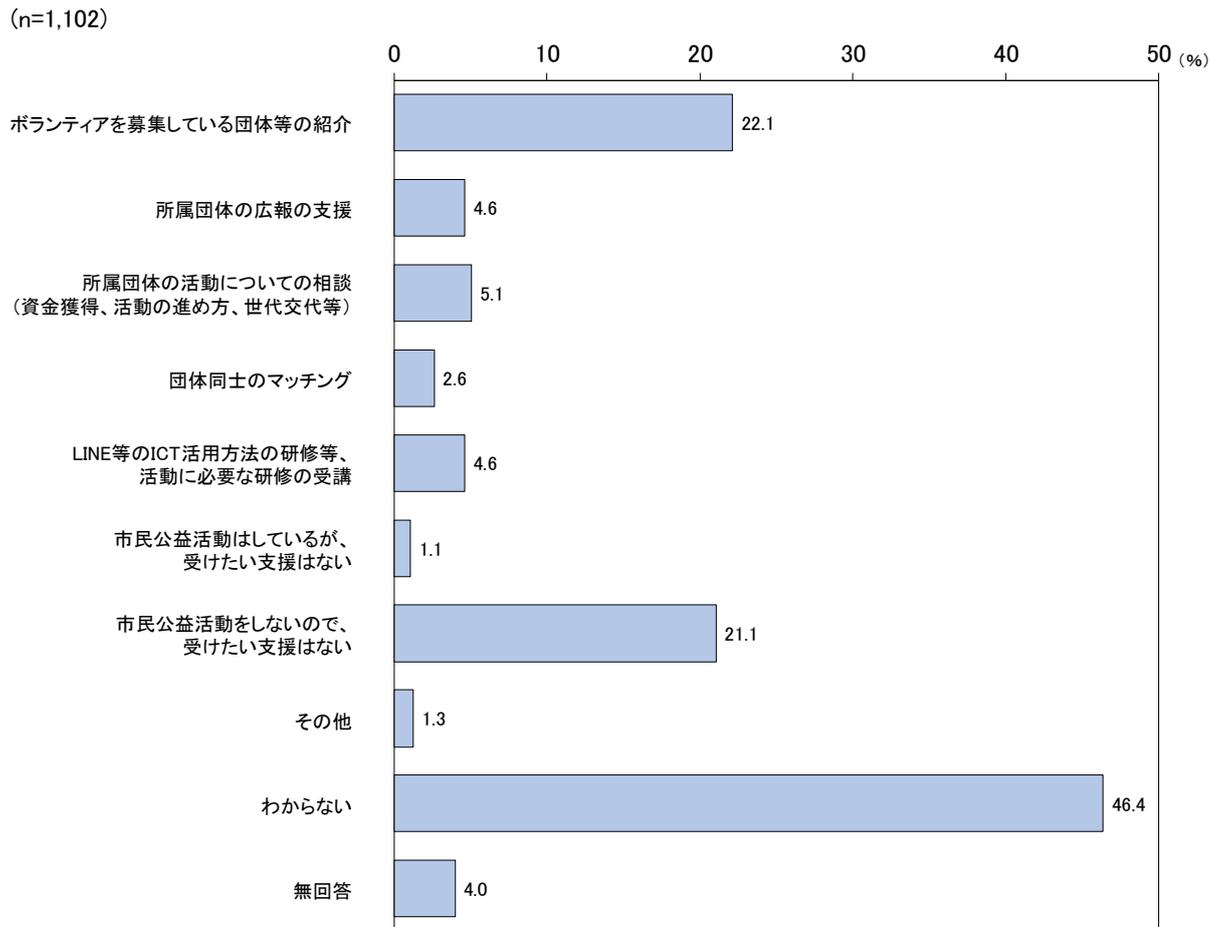
単位：%

区分		有効回答数 (件)	遠くて利用しづらい	ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	利用する時間がない	その他	無回答
職業別	常時雇用者	41	14.6	43.9	43.9	4.9	4.9
	臨時雇用者	31	38.7	25.8	29.0	29.0	3.2
	派遣社員	1	—	—	100.0	—	—
	内職	0	—	—	—	—	—
	自営業者、自由業者	5	—	60.0	40.0	—	—
	家族従業者	0	—	—	—	—	—
	経営者、重役、役員	0	—	—	—	—	—
	学生	6	50.0	50.0	16.7	16.7	—
	専業主婦・主夫	33	24.2	36.4	27.3	18.2	6.1
	無職	22	22.7	36.4	36.4	9.1	—

問 23 あなたがボランティア活動などの市民公益活動をする上で、受けてたい支援として当てはまるものを教えてください。(いくつでも)

「ボランティアを募集している団体等の紹介」の割合が22.1%と最も高く、次いで「市民公益活動をしないので、受けてたい支援はない」の割合が21.1%、「所属団体の活動についての相談（資金獲得、活動の進め方、世代交代等）」の割合が5.1%となっています。

図表 2-64 市民公益活動をする上で受けてたい支援（単純回答）



居住地域別で見ると、他に比べ、山田・千里丘地域で「ボランティアを募集している団体等の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表 2-65 市民公益活動をする上で受けたい支援（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティアを募集している団体等の紹介	所属団体の広報の支援	所属団体の活動についての相談	団体同士のマッチング	ICT活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	市民公益活動をしていないので、受けたい支援はない	その他	わからない	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	15.9	5.7	2.3	1.1	5.7	1.1	18.2	1.1	51.1	4.5
	片山・岸部地域	155	21.9	7.1	6.5	3.2	7.1	—	22.6	0.6	42.6	5.2
	豊津・江坂・南吹田地域	204	16.7	2.5	4.9	3.4	4.9	1.0	25.0	3.4	48.5	1.5
	千里山・佐井寺地域	193	24.9	4.1	5.7	3.1	2.6	1.0	21.8	0.5	46.1	3.6
	山田・千里丘地域	234	27.4	6.0	5.6	2.1	4.7	0.4	15.4	0.4	49.6	1.7
	千里NT・万博・阪大地域	199	24.1	4.0	5.0	2.5	4.5	3.0	23.6	1.5	40.2	5.5

性別で見ると、女性より男性の方が「市民公益活動をしていないので、受けたい支援はない」と答えています。

図表 2-66 市民公益活動をする上で受けたい支援（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティアを募集している団体等の紹介	所属団体の広報の支援	所属団体の活動についての相談	団体同士のマッチング	ICT活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	市民公益活動をしていないので、受けたい支援はない	その他	わからない	無回答
性別	女性	631	22.7	4.3	4.9	3.0	4.9	0.5	17.6	1.4	48.7	4.6
	男性	454	21.4	5.1	5.3	2.2	3.7	1.8	26.2	1.1	42.7	3.3
	答えたくない	15	26.7	6.7	6.7	—	20.0	6.7	13.3	—	53.3	—

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で「ボランティアを募集している団体等の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表 2-67 市民公益活動をする上で受けたい支援（年齢別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	ボランティアを募集している団体等の紹介	所属団体の広報の支援	所属団体の活動についての相談	団体同士のマッチング	ICT活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	市民公益活動をしていないので、受けたい支援はない	その他	わからない	無回答	
年齢別	30歳未満	116	29.3	6.0	9.5	4.3	7.8	1.7	20.7	1.7	37.1	0.9
	30歳代	135	17.8	2.2	3.7	2.2	3.0	0.7	21.5	0.7	54.1	2.2
	40歳代	170	21.2	5.3	8.2	2.9	4.1	0.6	28.2	1.2	41.8	1.2
	50歳代	211	25.1	3.8	5.7	3.3	6.6	0.9	19.9	0.9	46.0	1.4
	60歳代	159	30.8	6.9	5.0	1.9	4.4	0.6	18.9	1.3	44.7	1.3
	70歳代	182	20.9	3.3	1.6	2.7	3.8	0.5	17.0	0.5	52.7	7.7
	80歳以上	118	7.6	5.9	2.5	0.8	1.7	3.4	22.0	3.4	45.8	15.3

職業別でみると、他に比べ、学生で「ボランティアを募集している団体等の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表 2-68 市民公益活動をする上で受けたい支援（職業別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	ボランティアを募集している団体等の紹介	所属団体の広報の支援	所属団体の活動についての相談	団体同士のマッチング	ICT活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	市民公益活動をしていないので、受けたい支援はない	その他	わからない	無回答	
職業別	常時雇用者	372	24.2	4.6	8.1	3.0	6.2	1.1	26.6	1.1	39.5	1.1
	臨時雇用者	189	20.1	4.2	4.8	2.1	3.2	0.5	15.3	1.1	57.1	2.1
	派遣社員	15	20.0	—	6.7	6.7	20.0	—	20.0	—	46.7	—
	内職	2	—	—	—	—	—	—	50.0	—	50.0	—
	自営業者、自由業者	50	28.0	2.0	2.0	2.0	6.0	2.0	24.0	2.0	36.0	6.0
	家族従業者	3	—	—	—	—	—	—	33.3	—	66.7	—
	経営者、重役、役員	29	34.5	3.4	3.4	3.4	6.9	3.4	13.8	3.4	41.4	3.4
	学生	36	47.2	13.9	11.1	11.1	11.1	2.8	8.3	2.8	27.8	2.8
	専業主婦・主夫	193	19.7	4.7	3.1	1.0	2.1	0.5	16.6	1.0	49.2	8.8
	無職	205	16.6	4.9	2.0	2.4	2.9	1.5	22.4	1.5	52.2	5.9

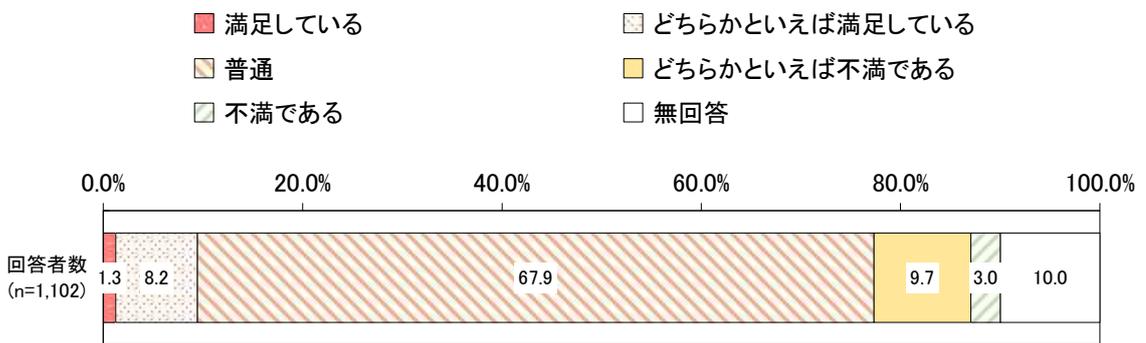
問 24 あなたは、次の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市民自治を進めるに当たってどの程度重要だと思えますか。
 (「満足度」と「重要度」からそれぞれ1つずつ〇印)

満足度

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働

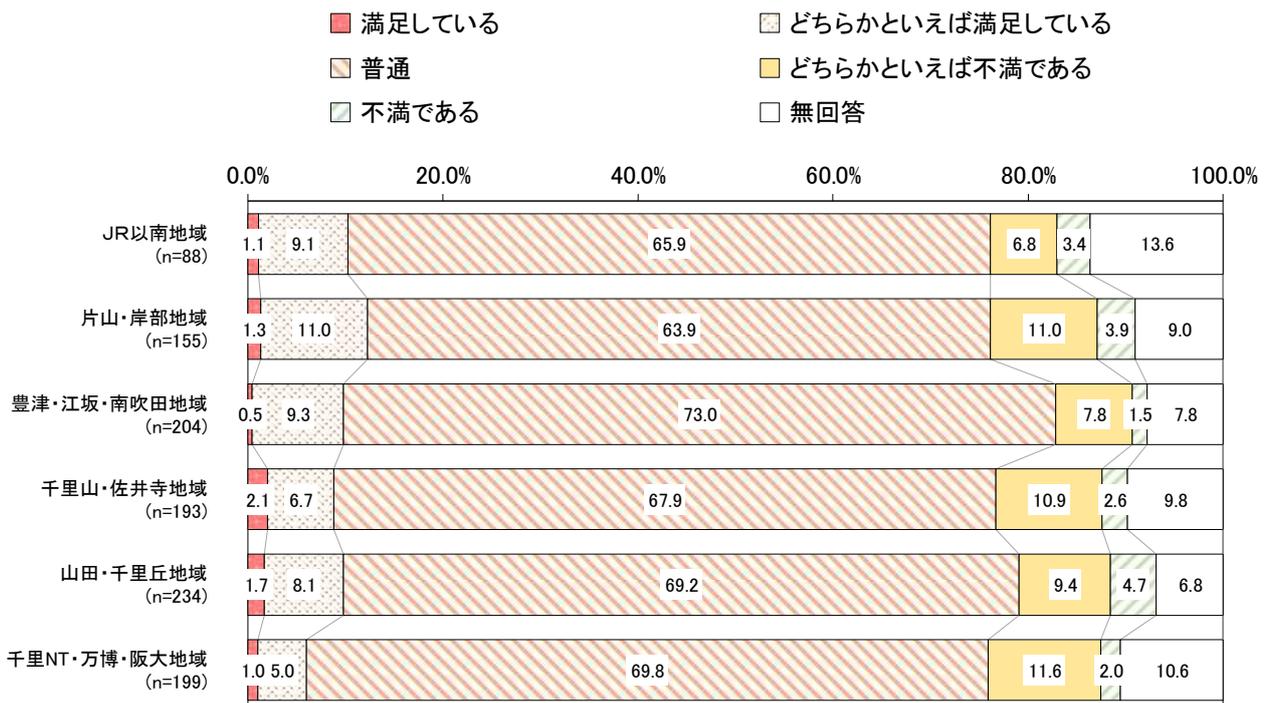
「普通」の割合が 67.9%と最も高く、「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が 9.5%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合は 12.7%となっています。

図表 2-69 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての満足度（単純回答）



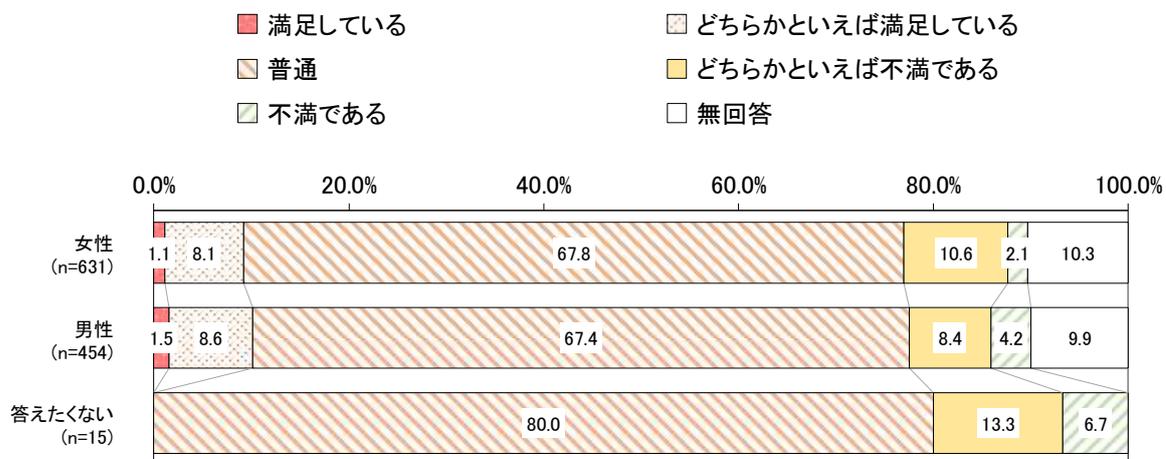
居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸部地域で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が最も高くなっています。

図表 2-70 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての満足度（居住地域別）



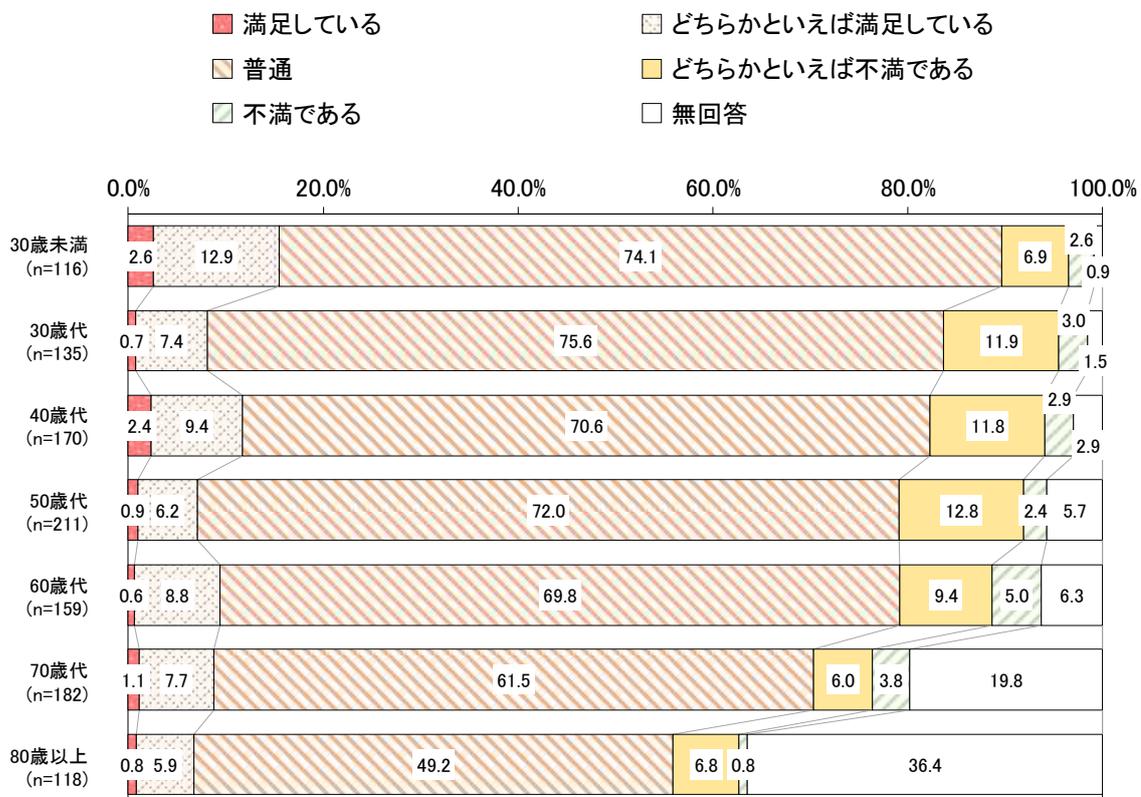
性別でみると、女性より男性の方が“満足している”と答えています。

図表 2-71 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての満足度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で“満足している”の割合が最も高くなっています。

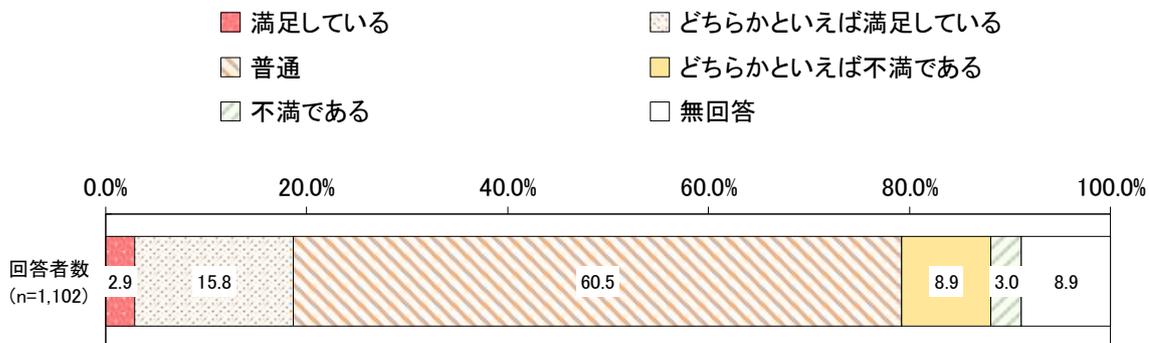
図表 2-72 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての満足度（年齢別）



②市からの情報提供・公表

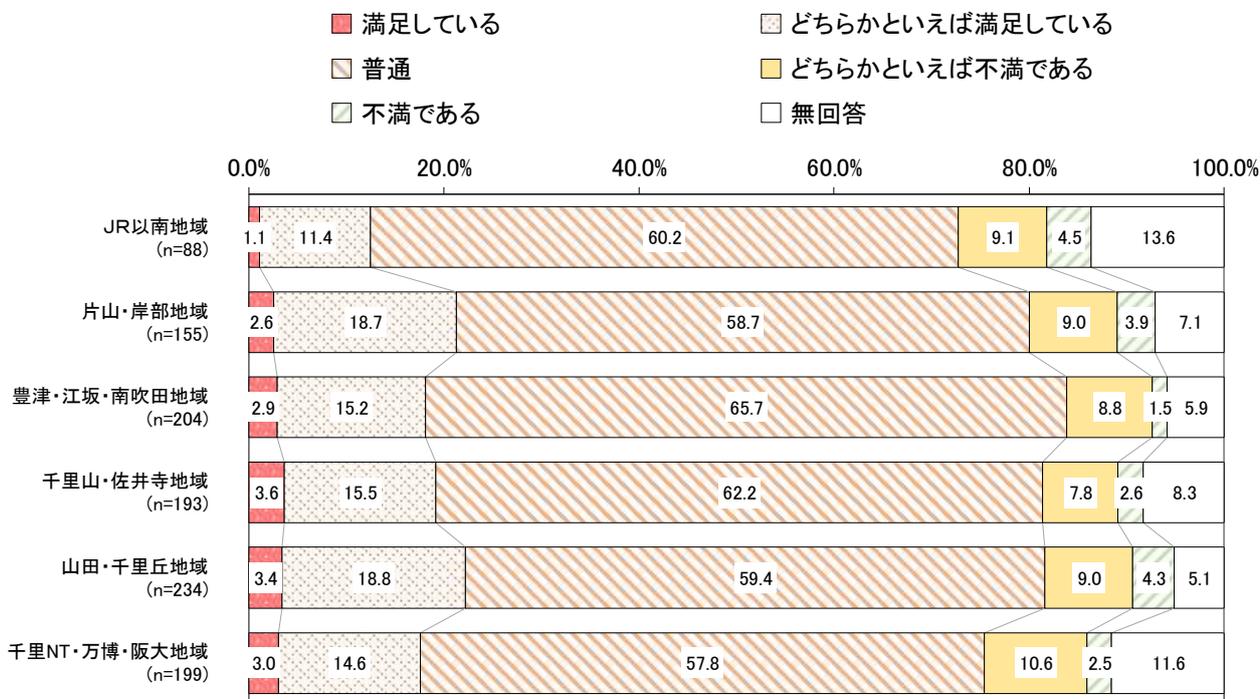
「普通」の割合が60.5%と最も高く、次いで「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が18.7%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合は11.9%となっています。

図表 2-73 市からの情報提供・公表についての満足度（単純回答）



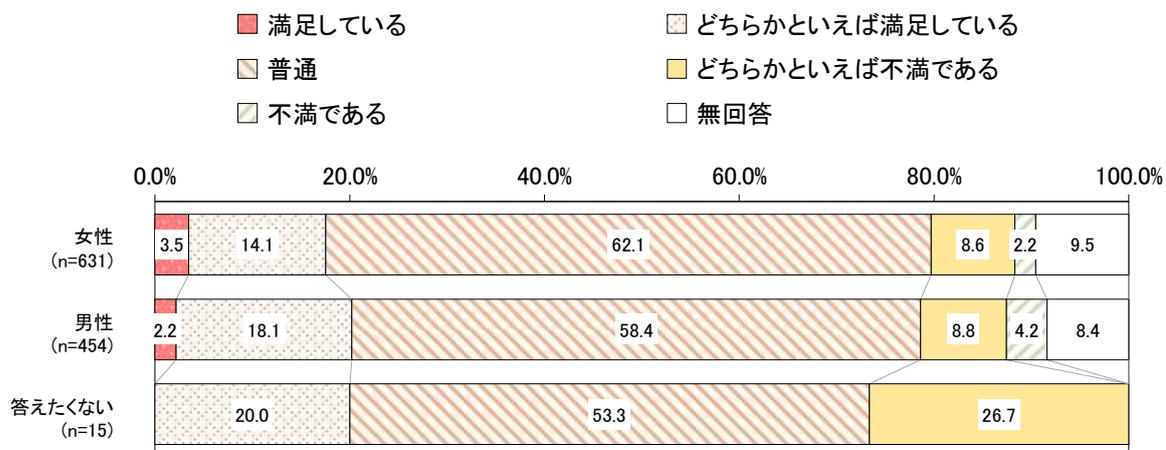
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が最も高くなっています。

図表 2-74 市からの情報提供・公表についての満足度（居住地域別）



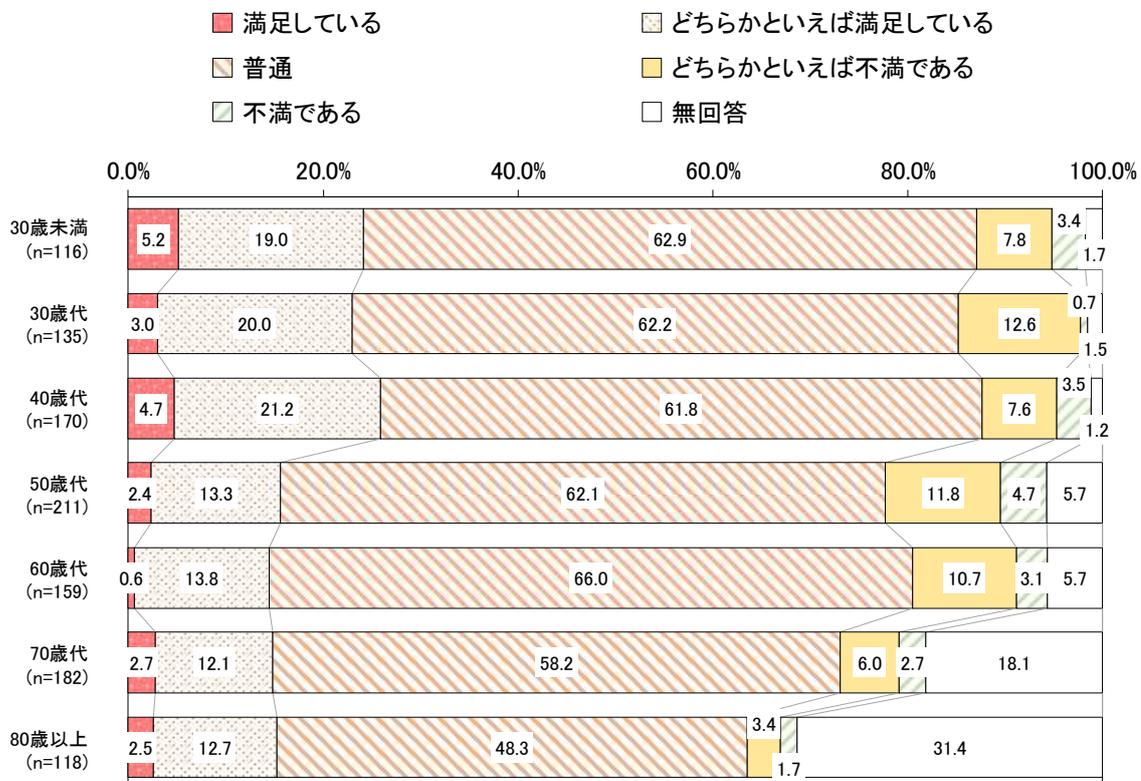
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 2-75 市からの情報提供・公表についての満足度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた「満足している」の割合が最も高くなっています。

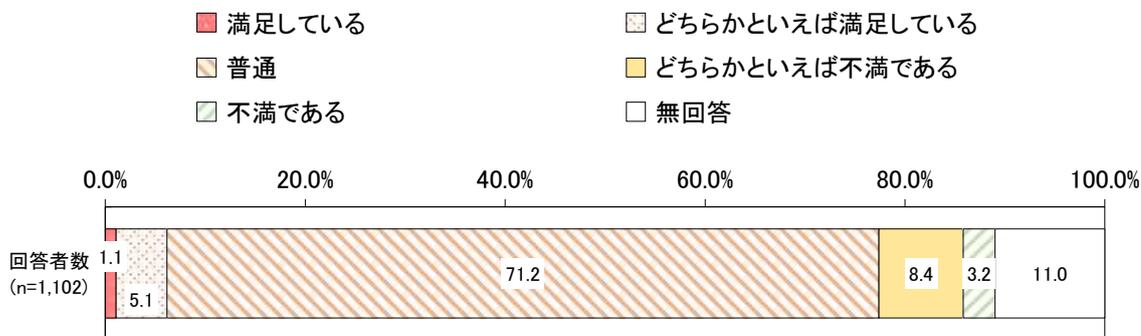
図表 2-76 市からの情報提供・公表についての満足度（年齢別）



③市民参画の推進

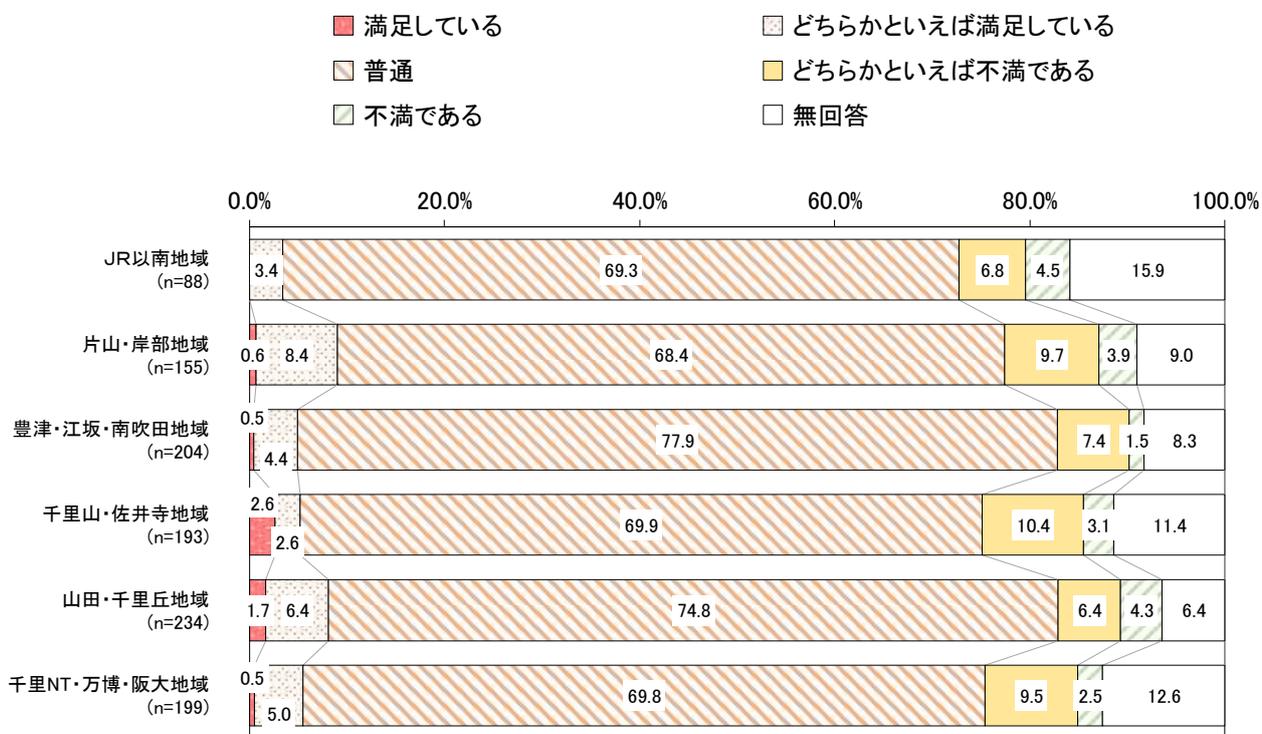
「普通」の割合が71.2%と最も高く、「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が6.2%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合は11.6%となっています。

図表2-77 市民参画の推進についての満足度（単純回答）



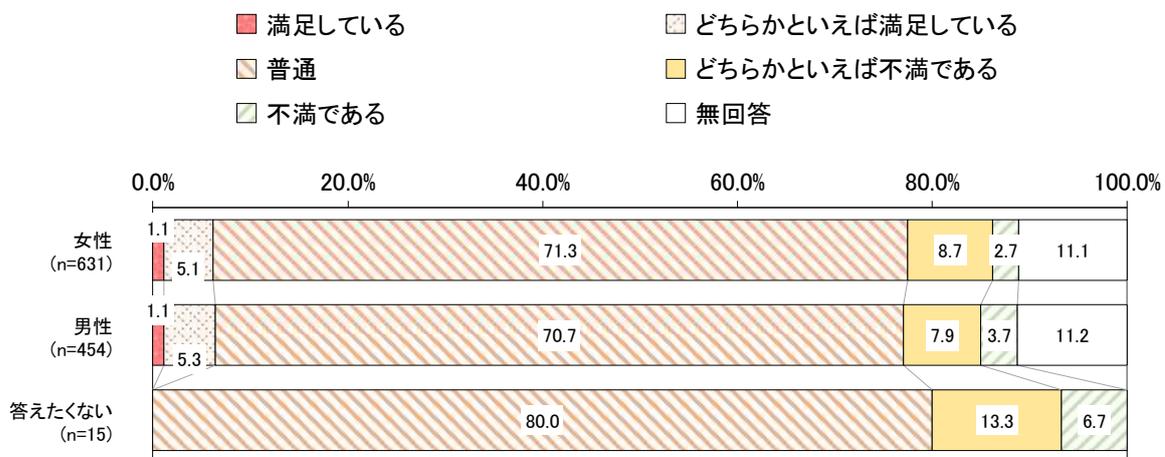
居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸部地域で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が最も高くなっています。

図表2-78 市民参画の推進についての満足度（居住地域別）



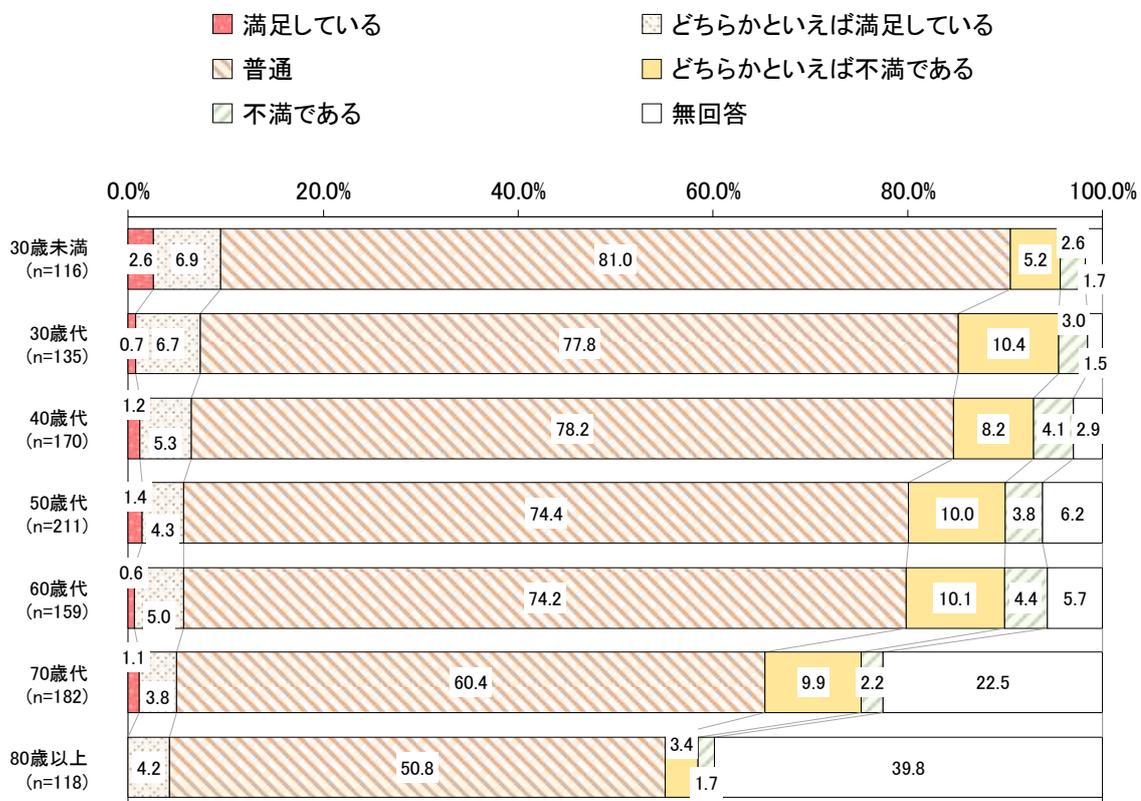
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 2-79 市民参画の推進についての満足度（性別）



年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて“満足している”の割合が低くなっています。

図表 2-80 市民参画の推進についての満足度（年齢別）

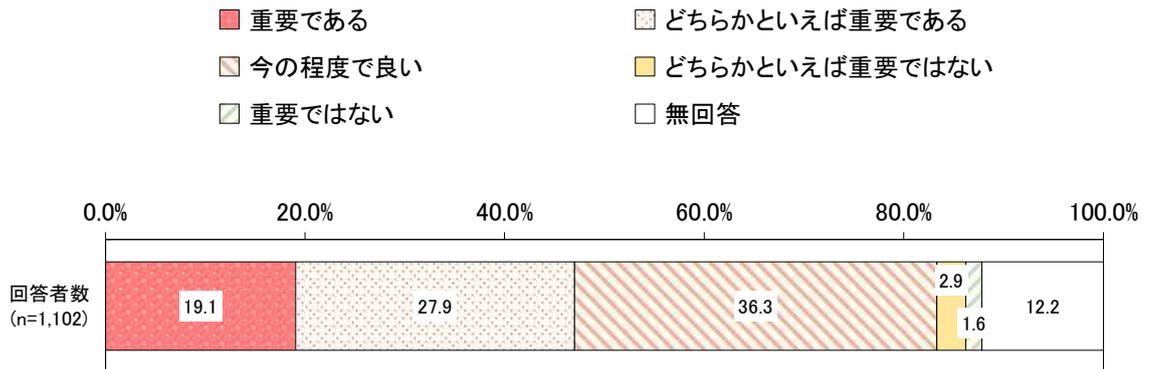


重要度

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働

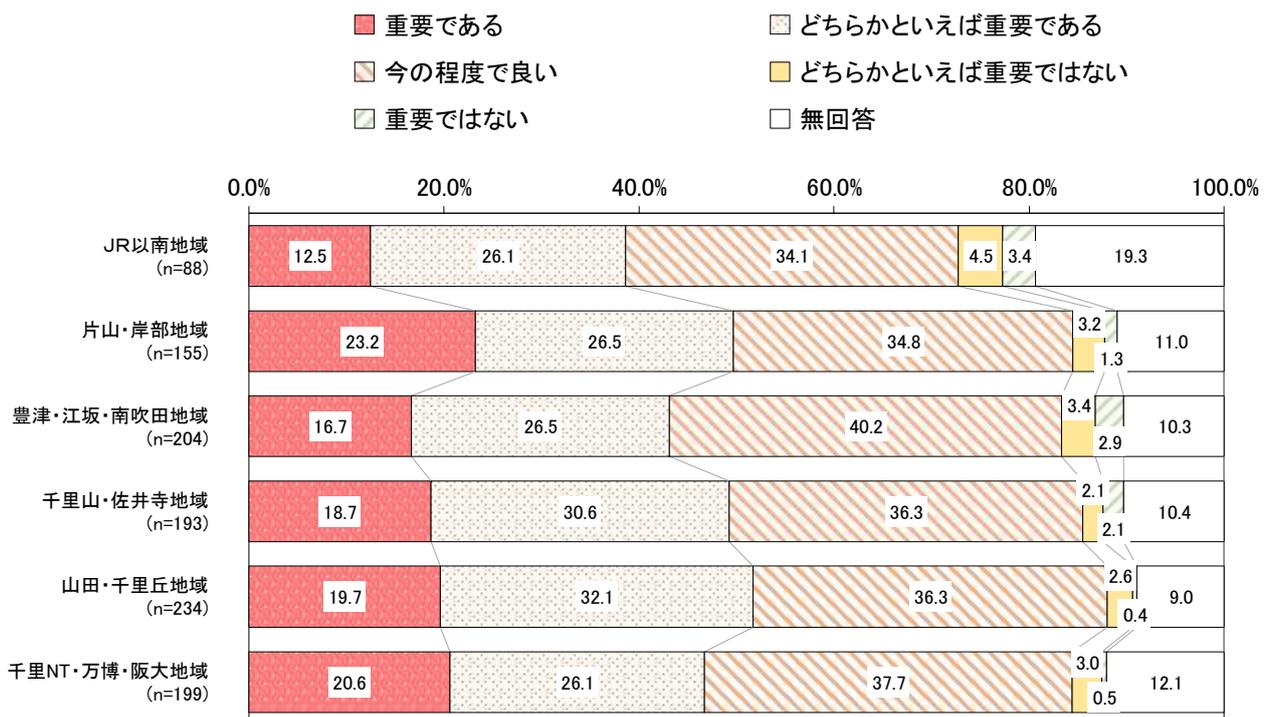
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が47.0%と最も高く、次いで「今の程度で良い」の割合が36.3%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合は4.5%となっています。

図表 2-81 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての重要度（単純回答）



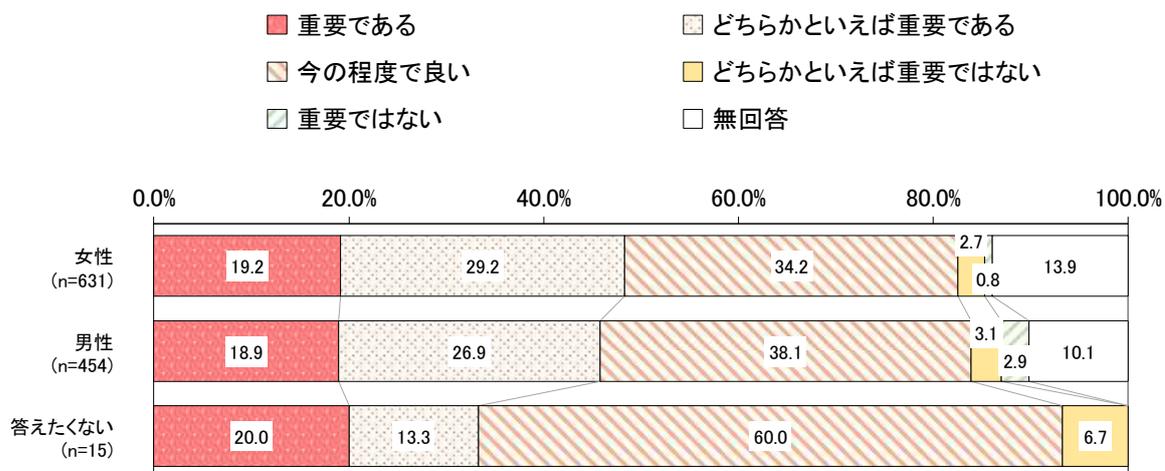
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が最も高くなっています。

図表 2-82 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての重要度（居住地域別）



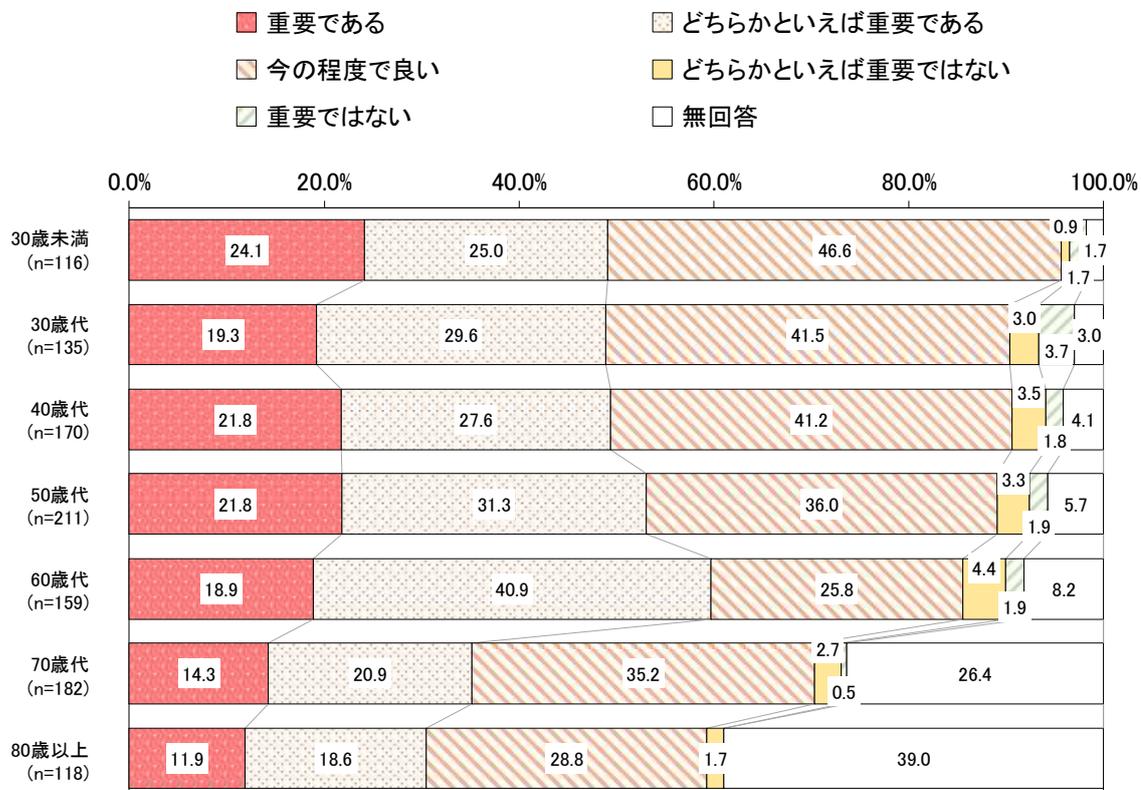
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 2-83 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての重要度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30歳代から60歳代になるにつれて「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が高くなっています。

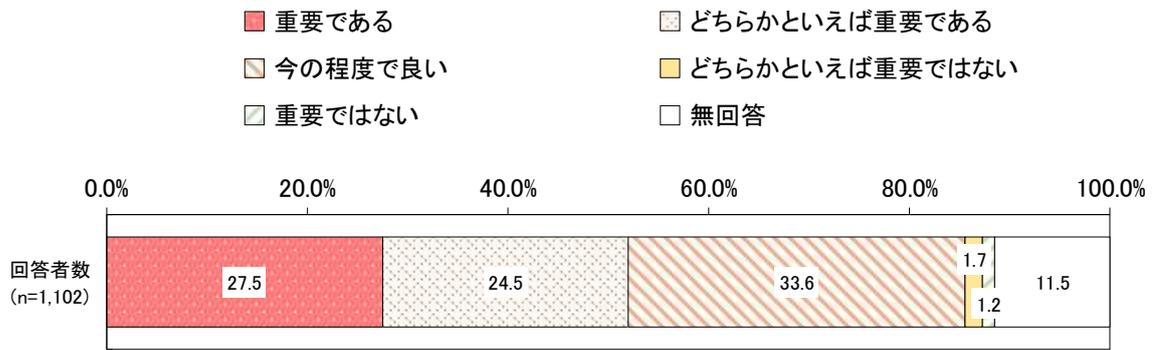
図表 2-84 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての重要度（年齢別）



②市からの情報提供・公表

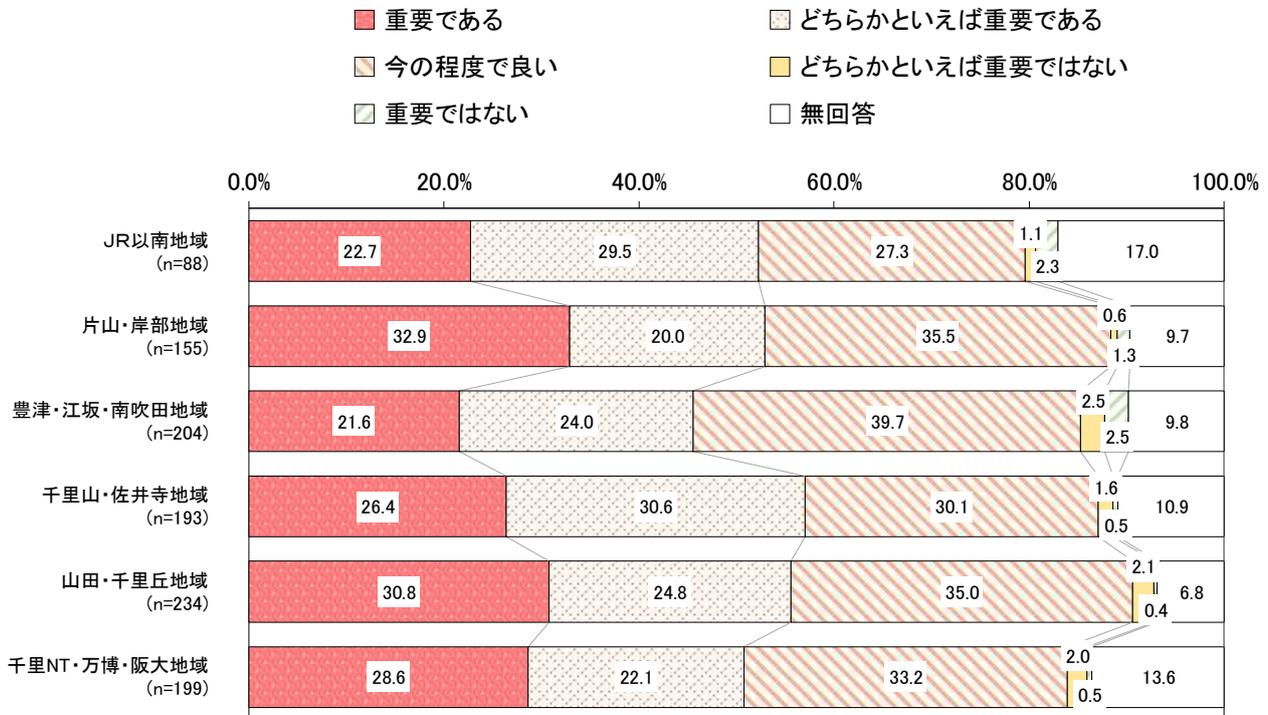
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が52.0%と最も高く、次いで「今の程度で良い」の割合が33.6%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合は2.9%となっています。

図表 2-85 市からの情報提供・公表についての重要度（単純回答）



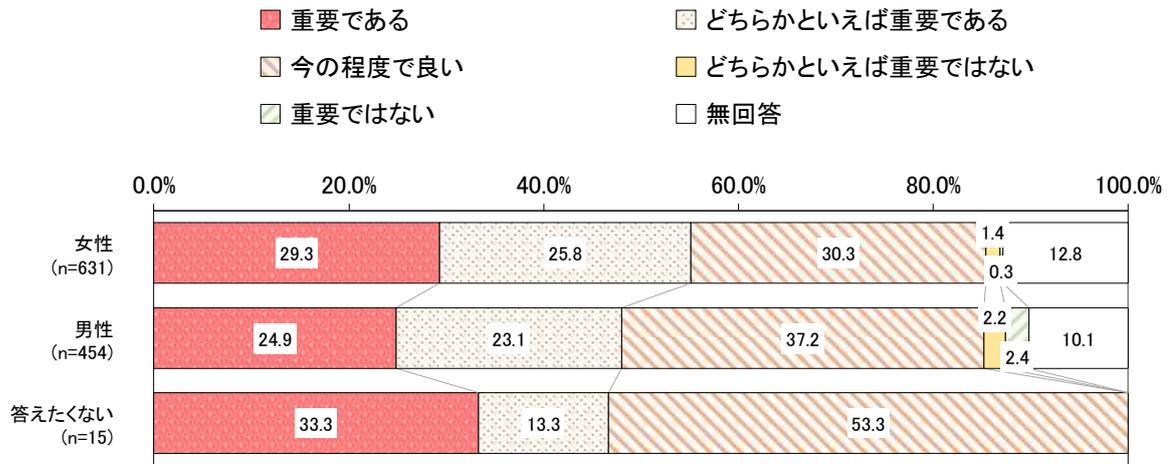
居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が最も高くなっています。

図表 2-86 市からの情報提供・公表についての重要度（居住地域別）



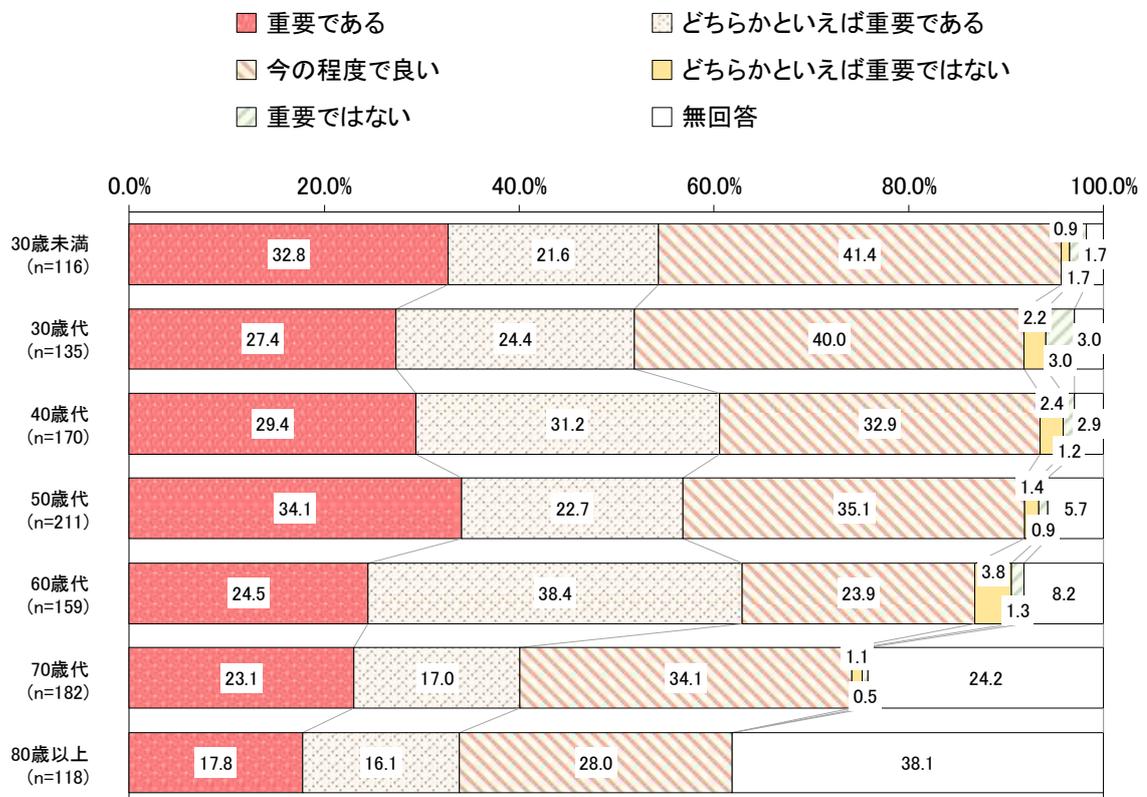
性別でみると、男性より女性の方が“重要である”と答えています。

図表 2-87 市からの情報提供・公表についての重要度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、60歳代で「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が最も高くなっています。

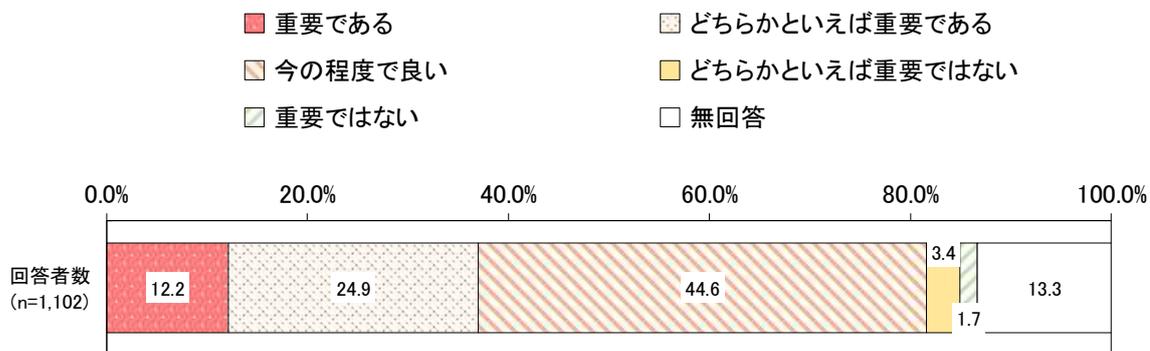
図表 2-88 市からの情報提供・公表についての重要度（年齢別）



③市民参画の推進

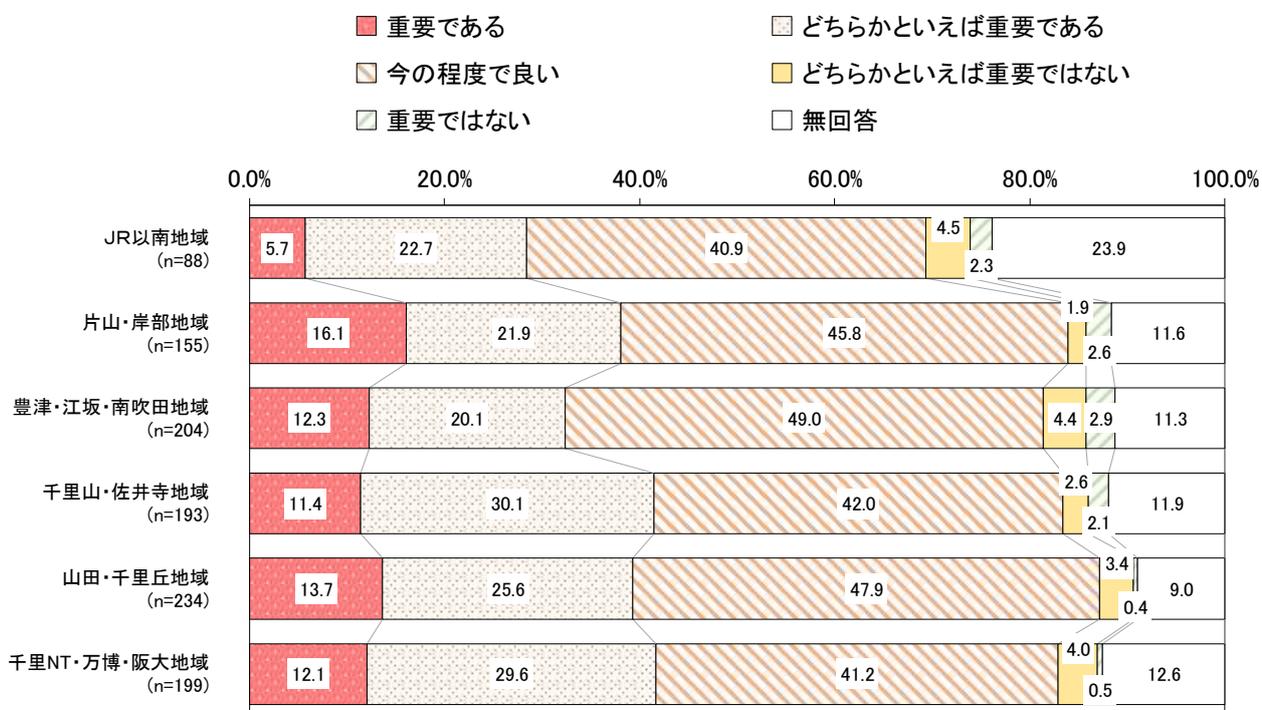
「今の程度で良い」の割合が44.6%と最も高く、次いで「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた“重要である”の割合が37.1%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合は5.1%となっています。

図表2-89 市民参画の推進についての重要度（単純回答）



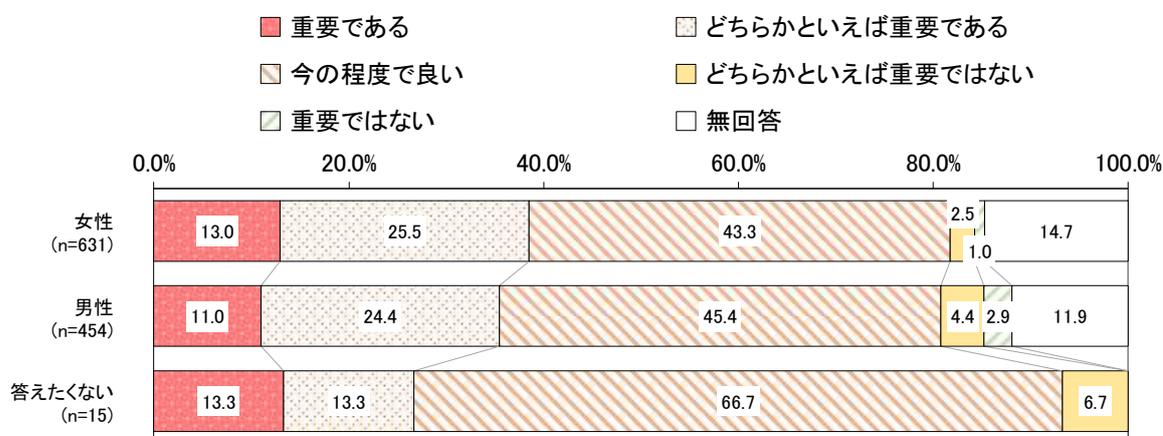
居住地域別でみると、他に比べ、千里NT・万博・阪大地域で「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた“重要である”の割合が最も高くなっています。

図表2-90 市民参画の推進についての重要度（居住地域別）



性別でみると、男性より女性の方が“重要である”と答えています。

図表 2-91 市民参画の推進についての重要度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30歳代から60歳代になるにつれて「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が高くなっています。

図表 2-92 市民参画の推進についての重要度（年齢別）

